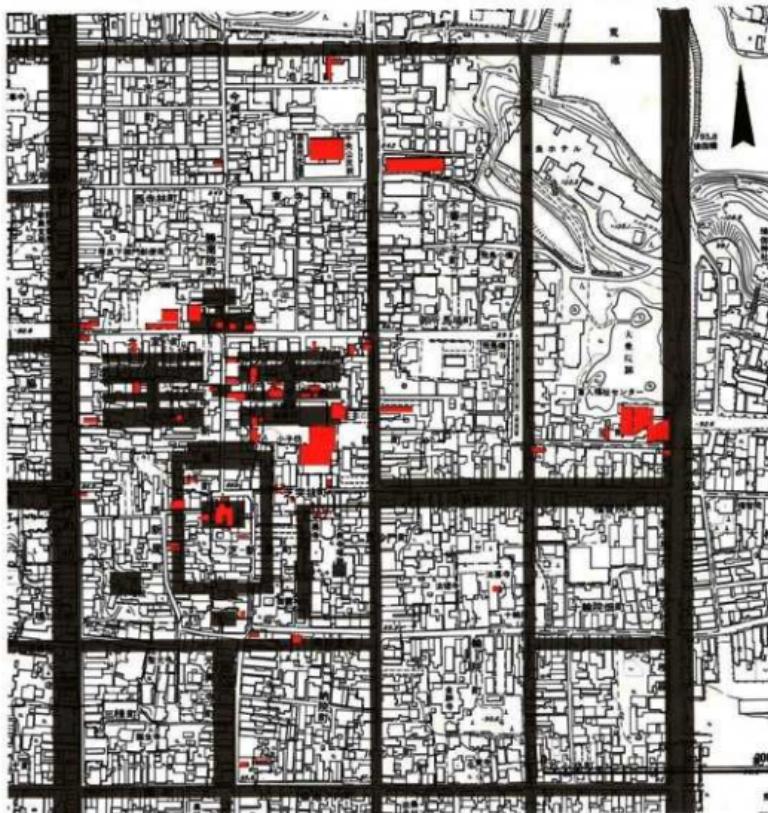


2 元興寺旧境内の調査

元興寺旧境内では、本年度第42～44次調査の3件の発掘調査を実施した。いずれも個人住宅の建替えに伴う事前調査である。第42次調査は塔北側の築地、第43次調査は東面回廊、第44次調査は西面回廊が推定される地点でそれぞれ実施した。3件とも小規模な調査であり、伽藍に関連する遺構は確認されなかった。



元興寺旧境内 発掘調査位置図 (1/5,000)

(1) 東塔院推定地の調査 第42次

所在地 奈良市芝突抜町3番地

調査期間・面積 平成8年5月10日～5月20日 18m²

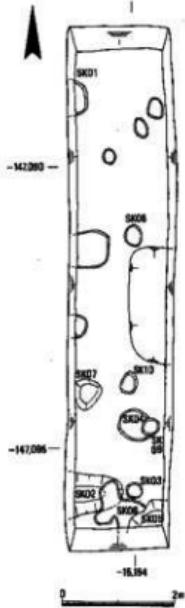
調査原因 個人住宅建替（高尾武彦氏届出）

I 調査の目的 調査地は東塔跡の北側に位置する。遺構の遺存状態と時期の特定とともに、東塔院北辺部の区画施設の確認を目的とした。

II 調査地の層相 層序は上から暗黒灰色砂質土、暗黄褐色砂質土、黄褐色砂質土、淡灰褐色砂質土、黄褐色砂質土、暗灰褐色粘質土と続き、現地表下約1.0mで明橙色粘質土の地山となる。地山上面の標高は概ね87.7mである。暗灰褐色粘質土(0.1m)上面には、近世の瓦片や拳人の石が敷かれ整地土と判断できる。また、淡灰褐色砂質土(0.1m)と黄褐色砂質土(0.1m)も固く締まることから、同様に整地土と考えられる。遺構検出は基本的に上層整地土である淡灰褐色砂質土上面と地山上面の2面で行なったが、発掘区北半は削平を受け、整地土が遺存しないため、地山上面でのみ遺構検出を行なった。先述のいずれの整地土からも、13～16世紀後半の土師器・瓦器・瓦質土器類が出土している。

III 検出遺構・遺物 主な遺構には奈良時代と近世の土坑10がある。SK01・02は地山上面で検出した遺構である。SK01から奈良時代の須恵器杯・壺が出土した。SK02から瓦質土器鉢が出土したが、詳細な時期は不明である。SK03～10はいずれも上層整地土上面で検出した遺構である。SK03から16世紀代の土師器皿が出土した。SK04から16世紀代の土師器皿・釜が出土した。SK05から17～19世紀の土師器皿、瓦質土器片、国産陶器碗・壺・甕、中国製染付鉢が出土した。SK06から土師器片、SK07から土師器皿、瓦器碗、SK08から土師器皿、瓦質土器片が出土したが、SK06～08はいずれも詳細な時期はわからなかった。SK09・10は遺物がなく、時期は不明である。今回、奈良時代に遡る土坑(SK01)を検出したが、地山面は約20m西で実施した第8次調査地に比べて、約0.3m削平されている。また、同調査地で検出した19世紀の焼土層が当発掘区で遺存していないことから、さらに削平を受けるものと判断できる。

（宮崎正裕） 第42次調査 遺構平面図（1/100）



(2) 東面回廊推定地の調査 第43次

所在地 奈良市中新屋町41-2、44-2

調査期間・面積 平成8年9月11日～9月20日 15m²

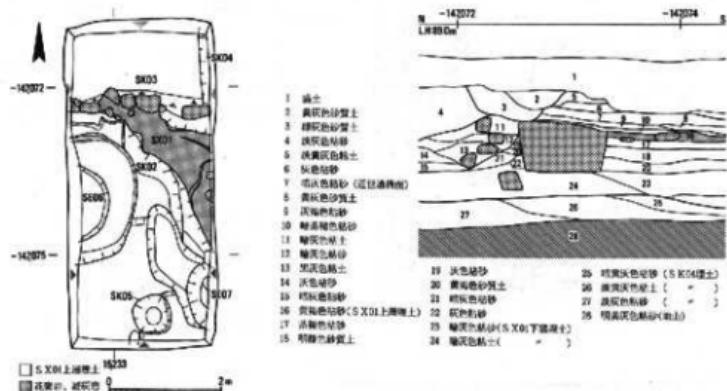
調査原因 個人住宅建替（梶谷弘氏届出）

I 調査の目的 調査地は東面回廊推定地にあたり、東側の南北小路は同回廊の遺存地割である。東面回廊の確認と近世奈良町の様相解明を目的とした。

II 調査地の層相 層相は上から盛土、灰色粘砂、淡黄灰色粘土、灰色粘砂、現地表下約0.5mで近世造構面である暗灰色粘質土、約0.6mで基壇状の盛土（S X01）と続き、約1.2mで明黄灰色粘砂の地山となる。地山上面の標高は概ね87.5mである。造構検山は基本的にS X01上面と地山上面の2面で行なった。

III 検出造構・遺物 主な造構にはS X01のほか、土坑4、井戸2基がある。S X01の上層埋土中には、花崗岩・凝灰岩の自然石や切石を東西方向に並べる石列がある。排水溝などの護岸、あるいは町屋の隣地境界などが想定できよう。盛土全体の厚さは約0.6mで、埋土から16世紀後半の土師器・瓦質土器片が出土した。S K02・03は重複関係から、S X01より新しいが、詳細な時期は判然としなかった。S K04・05からは16世紀後半の土師器皿、瓦質土器擂鉢などが出土した。重複関係から、S K04はS X01より古い。S E06からは18～19世紀の土師器皿・鍋、国産陶磁器類と近世の瓦片が出土した。S E07は近世造構面から掘り込まれるが、詳細な時期は不明である。

（宮崎正裕）



(3) 西面回廊推定地の調査 第44次

所在地 奈良市中新屋町8番地
 調査期間・面積 平成9年2月4日～2月7日 4m²
 調査原因 個人住宅建替（今來俊雄氏届出）

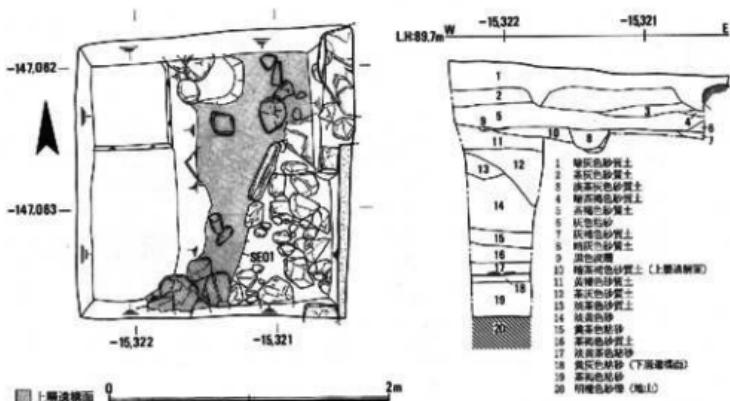
I 調査の目的 調査地は西面回廊推定地にあたり、講堂推定地にも近接する。西面回廊の確認を目的とした。

II 調査地の層相 層序は上から暗灰色砂質土、茶灰色砂質土、茶褐色砂質土と続き、現地表下約0.5mで暗茶褐色砂質土（上層遺構面）、約1.5mで黄灰色粘砂（下層遺構面）、約1.8mで明橙色砂疊の地山となる。地山上面の標高は概ね87.7mである。

III 検出遺構・遺物 上層遺構面には、拳大や人頭大の石が多く混じる。発掘区南東隅に石組井戸（SE01）があるが、掘削しなかった。発掘区西半のみを遺構検出した。下層遺構面まで複雑な堆積が続き、埋土から17世紀末～18世紀前半の土師器皿・炮烙、国産陶器碗・擂鉢などが出土した。下層の黄灰色粘砂から遺物は出土しなかったが、地山上面に堆積する茶褐色粘砂から17世紀末～18世紀の土師器皿、国産陶器類が出土した。

IV まとめ 今年度の調査で、当初の推定伽藍を確認することができなかった。しかし、第42次調査地では奈良時代の遺構が遺存することと、近接する第8次調査地に比べて地山が削平されることが判明した。また、第43次調査地でも16世紀後半以降の大規模な造成が判明したが、調査例の増加に委ねるところが多い。

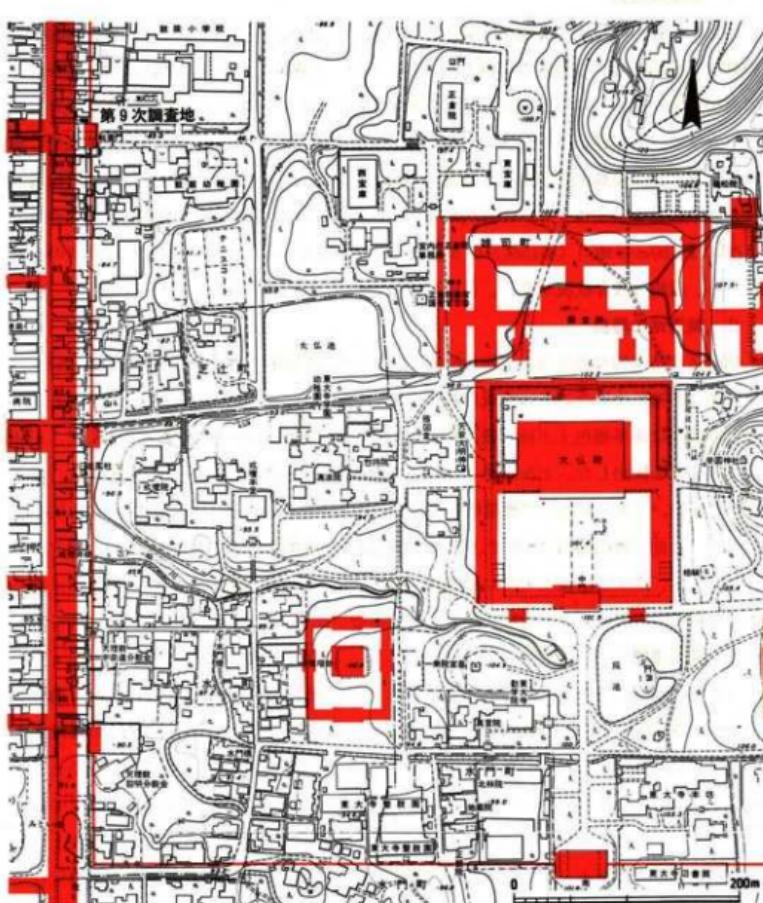
（宮崎正裕）



第44次調査 遺構平面図・北壁上層図 (1/40)

3 史跡東大寺旧境内の調査

史跡東大寺旧境内では、本年度第9次調査を実施した。この調査は、転害門北側の西面大垣が推定される地点で実施した現状変更許可申請に伴う調査である。小規模な調査であるが、西面大垣について重要な成果を得ることができた。



史跡東大寺旧境内 発掘調査位置図 (1/5,000)

(1) 西面大垣の調査 第9次

所在地 奈良市雜司町88-1

調査期間・面積 平成8年12月9日～12月24日 22m²

調査原因 転害門街区公園整備工事（奈良市長通知）

I 調査の目的

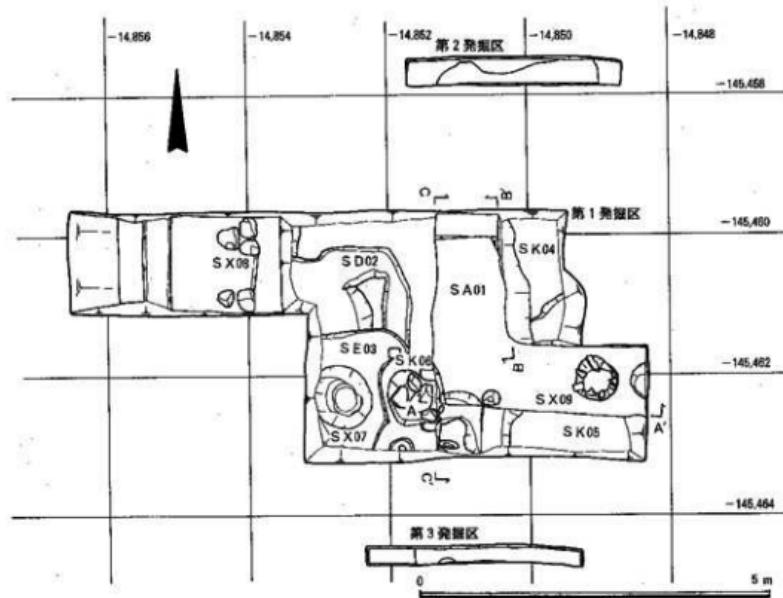
調査地は転害門のすぐ北側で、東大寺西面大垣が想定されていた。このため、西面大垣の確認を目的として発掘区は東西方向に設定した。遺構検出の結果、西面大垣推定ラインで黄褐色系の粘土・砂質土の高まりを、地表下0.2～0.3mで確認した。このためにコンクリートブロック塀建設予定場所にこの高まりが広がっているかどうかを確認するため、新たに北側に第2発掘区、南に第3発掘区を設定し、調査を行った。なお、西面大垣の痕跡は奈良県教育委員会により、転害門から南、約50mの地点（第13次）、約115mの地点（第2次）、約150mの地点（第15次）の3箇所で確認されている。3次の調査とも後世の搅乱のため、遺構の残存状況が悪く、正確な大垣の規模はわからない。

II 調査地の層相

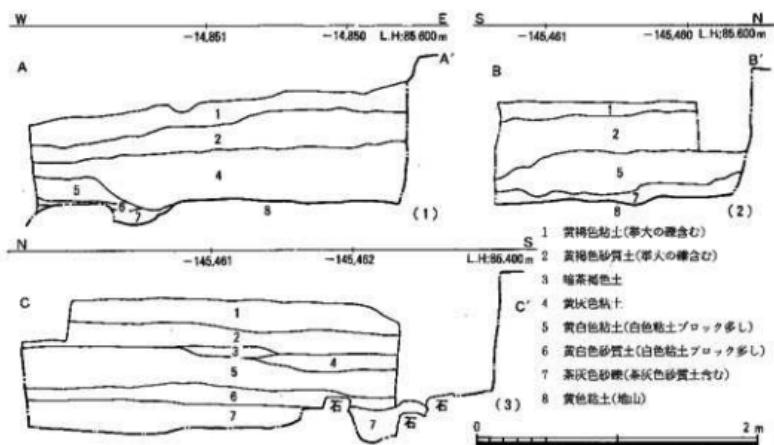
発掘区の基本的な層序は、黒褐色砂質土（表土）、淡茶褐色土、黒灰色砂質土と続き、東辺では黄褐色土、西辺では青灰色粘土の地山にいたる。遺構面は三面ある。上から第1面の遺構面は淡茶褐色土上面（標高約85.1m）で、土坑SK04・05、石組溝SX08、石組遺構SX09を検出した。上から第2面の遺構面は黒灰色砂質土上面（標高約84.4m）で、井戸SE03、土坑SK06、埋甕遺構SX07を検出した。上から第3面の遺構面は青灰色粘土の地山上面（標高約84.2m）で、SA01掘込地業、素掘りの溝SD02を検出した。なお、淡茶褐色土、黒灰色砂質土の中には多量の焼土、炭が含まれていた。両層ともに埋上から平安時代以降の軒丸瓦、18世紀の土器・陶磁器類が出土した。

III 検出遺構

SA01は西面大垣の築土と考えられる。第2・3調査区では上面のみ検出した。南北約7.2m分、東西約3.0m分を確認した。第3発掘区で確認した築土が第1発掘区で確認した築土より、西へ広がるため、第1発掘区SA01西辺は後世の削平をうけているものとおもわれる。土坑SK04・05により掘り込まれている箇所（1・2）と西壁面（3）での断面観察によると、基本的な築土状況は、下から茶灰色砂礫（掘込地業）、黄白色砂質土、黄白色粘土、黄灰色粘土、黄褐色砂質土、黄褐色粘土である。掘込地業上面から黄褐色粘土上面までの高さは約0.7mである。これらの築土は厚く、厚みも均質なものではないため、いわゆる版築により構築されたものとは考え難い。掘込地業はSA01西半部でのみ行って



第9次検査 通構平面図 (1/80)



西面大堤S.A01土層図 (1/40)

おり、東半部では行ってなかった。これは、西半部の地山が軟質の青灰色粘土で、東半部の地山が硬質の黄褐色土であったため、地盤が軟弱な西半部のみ掘込地業を行ったものと

考えられる。また、SK05が掘り込んでいる南面の築土状況（1）を観察すると、黄灰色粘土が茶灰色砂礫、黄白色粘土、黄白色砂質土を掘り込んで盛られていることが判明した。また西壁面（3）とSK04が掘り込んでいる東面の築土状況（2）から、黄灰色粘土はSA01南半部にのみ盛られていることが判明した。このことから、SA01は後の時代に一度、改修をうけたものとおもわれる。SA01の築土を保存するために、断ち割り調査を行わなかったため、SA01の造営時期、改修時期は不明である。SD02はL字形に曲折する素掘りの溝である。幅0.4～0.6m、検出面からの深さ約0.2mで、南北約1.0m分、東西約1.5m分検出した。埋土は青灰色砂で、溝内から18世紀の土器・陶磁器類が出土した。SE03は平面方形の井戸である。掘形は南北約1.7m以上、東西約1.2m以上である。検出面からの深さ約0.9mである。枠の大半は抜きとられていたが、北東隅柱と北側最下段の横桟のみが残存していた。重複関係からSK06、SX07より古いことがわかる。SK04は調査区北東で検出した土坑である。南北約2.0m分、東西約1.0m分を検出した。検出面からの深さは約0.7mである。埋土は淡茶褐色土で、坑内から平安時代以降の軒丸瓦、18世紀の土器・陶磁器類が出土した。SK05は調査区南東で検出した土坑である。南北約0.6m分、東西約1.8m分を検出した。検出面からの深さは約0.9mである。埋土は淡茶褐色土で、坑内から18世紀の土器・陶磁器類が出土した。SK06は平面隅丸方形の土坑である。南北約0.8m、東西約0.7mで、検出面からの深さは約0.25mである。埋土は灰褐色土で、坑内から18世紀の土器・陶磁器類が出土した。SX07は平面円形の掘形の中に、甕を据えた造構である。掘形の直径は約0.9mで、検出面からの深さは約0.4mである。据えられていた甕は、17世紀から18世紀にかけての備前焼の甕である。SX08は、幅約0.3mの溝の両岸に、河原石を据えた南北方向の石組溝である。検出面からの深さは約0.3mである。SX09は、平面円形の掘形の壁に偏平な石を据えた石組造構である。掘形の直径は約0.6m、検出面からの深さは約0.1mである。石は長さ10～30cm程度、厚さ約3cmのものを用いている。埋甕の据え付け穴とも考えられる。

III まとめ

今回の調査では、西側部分のみであるが、西面大垣と考えられる高まりを確認した。しかし東西幅が約3.0m以上と、幅が広いものであった。東大寺南面大垣築地基底部幅は約2.2mと知られているので、今回検出したSA01の幅は築地本体の幅とするには広すぎるという疑問が残る。また、土層観察からは、SA01はいわゆる版築をされたものとは考え難いものであった。これらのことからSA01は東大寺西面大垣の土壇部分で、この上にのる築地本体はすでに削平をうけた可能性が高いと思われる。
（原田憲二郎）

註1)奈良県立橿原考古学研究所「奈良市東大寺大垣内1990年度発掘調査概報第13次〔西面大垣今小路町29〕調査」
〔奈良県立橿原考古学研究所〕第一分冊「1990年度」1991
註2)奈良県立橿原考古学研究所「東大寺西面大垣跡発掘調査概報」〔奈良県立橿原考古学研究所〕「奈良県立橿原考古学研究所」第一分冊「1976年度」1977
註3)奈良市立橿原考古学研究所「奈良市東大寺大垣内1990年度発掘調査概報第15次〔西面大垣〕調査」〔奈良県立橿原考古学研究所〕第一分冊「1990年度」1991
註4)奈良県立文化財研究所「IV考察C築地の問題」〔平城宮発掘調査報告書〕1963

III その他の調査

1 鹿野園石器散布地の調査 第1次

所在地 奈良市白毫寺町地内

調査期間・面積 平成8年6月4日～7月10日 78m²

調査原因 市道北部202号線建設（奈良市長通知）

I 調査の目的

鹿野園町や白毫寺町周辺は縄文時代の石器の散布地であり、特に鹿野園温泉の付近および高円山山麓の田畑で多くの石器が発見されている。大部分が前期から晩期の石鏃で、他にスクレイバー、石核等がある。石材は大半が安山岩だが、緑色のチャートが若干ある。縄文土器は未発見である。本調査は、遺跡の範囲・性格の確認を目的とした。調査地は、白毫寺の南方にある古池より、主要地方道奈良名張線までの山斜面に位置する。道路



遺跡位置図 (1/20,000)

側東南斜面は緩斜面で、段々畑が造成されているのに対し、南斜面は急斜面の山林になっている。発掘区は東南斜面に4箇所、南斜面に1箇所、尾根上に1箇所設けた。

II 調査の成果

第1発掘区 (20m²) 畑地造成されているが、丘陵先端の裾部に位置し、平坦な地形であることから人間が活動しやすい場所と考えた。層相は表土、淡褐色～淡褐黄色の砂質シルト層群（以下a層群）、炭化物や焼土ブロック・灰を含有する浅褐灰色～褐灰色の砂質シルト層群（以下b層群）と続き、地表面下約1.2mで暗褐灰色砂質シルトの地山となる。地山上面の標高は概ね142.3mである。a層群は地山ブロックを含み、畑地造成や作土と考えられる。12～15世紀の土器が出土しており、畑地造成や畑地耕作は15世紀以降と考えられる。またb層群の内、数層の上面に焚火跡とみられる薄い焼土や灰を多数検出した。最下層から瓦質土器が出土しており、焼土や灰は少なくとも14世紀以降のものと言える。

第2発掘区 (10m²) 尾根上の先端部分であり、道上に位置する。地表面の傾斜角約5度と、人間の活動しやすい地形と考えた。層相は表土、暗黄灰色砂質シルト、明褐灰色砂質シルトと続き、表土下約0.3～1.1mで暗黄白色礫の地山となる。地山は傾斜角約20～30°



第1次調査 発掘区位置図 (1/2,000)

の急斜面で人間の生活に適さない。地山上面の標高は概ね155.0～156.7m。地山上面で安山岩を用いた石垣を検出した。周囲の段々畑崖面に同様の石垣があることから、廃棄された畑の石垣と考えられる。遺物はなく時期不明。

第3発掘区 (10m²) 畑地造成されているが、緩斜面に位置し、遺跡の存在の可能性が高いと考えた。表土下には約0.8mにわたって畑地造成あるいは作土と考えられる明褐灰色～赤褐色シルト（地山ブロック含有）層群が続き、地表面下約1.0mで浅赤褐色シルトの地山に至る。遺構・遺物はなかった。地山上面の標高は概ね142.2mである。

第4発掘区 (18m²) 南西急斜面の深い谷に位置する。東側に人間活動に適した尾根上平坦部があるため、遺物が土砂とともに堆積している可能性が高いと考えた。層相は表上、浅褐灰色砂質シルトと続き、表土下約0.3～0.8mで青白色シルトの地山に至る。地山上面の標高は概ね158.2～159.5m。約25°の傾斜がある。また、浅褐灰色砂質シルト層から奈良時代の須恵器の破片が出土した。北側に奈良時代の遺跡の存在が予想できる。

第5発掘区 (10m²) 緩斜面に位置し、畑地造成されている。層相は表土直下で灰白色砂質シルトの地山となり、地山上面の標高は概ね147.9～148.9m。約10°の傾斜がある。遺構・遺物は共になかった。

第6発掘区 (10m²) 緩斜面に位置し、畑地造成されている。層相は表土、暗褐灰色砂質シルト（地山ブロック含有）と続き、表土下約0.7mで明褐赤色シルトになる。地山上面の標高は概ね140.6～141.1m。約10°の傾斜がある。遺構・遺物は共になかった。

III まとめ

今回の発掘調査では、目的とした縄文時代の遺跡を確認できなかったが、第1発掘区や第4発掘区の成果により、この地に奈良時代や中世の遺跡が存在する可能性がでてきた。ただ調査範囲が狭く、地形的にも急な斜面地や畑造成地など遺跡の残存状況が良いとは言えない。調査地北側にある尾根上平坦地での調査が望まれる。

（大庭淳司）

2 東紀寺遺跡の調査 第4次

所在地 奈良市紀寺町581-5

調査期間・面積 平成8年11月5日～11月15日 60m²

調査原因 梅園地区住環境整備事業（奈良市長通知）

I 調査の目的

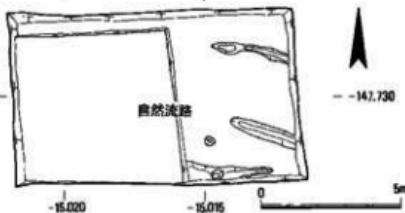
東紀寺遺跡では、平成7年度までに奈良市教育委員会で3度、奈良国立文化財研究所240次調査として発掘調査を実施している。その結果、占墳時代中期の円・方墳を検出した。第1次調査では鎌倉時代の土坑、江戸時代の井戸、土坑を検出している。また第2次調査では鎌倉時代の土坑と江戸時代の建物を検出している。今回の調査地は平成7年度の第3次調査の南西に位置する。今回の調査もこれまでと同様に遺跡の範囲確認を目的として東西10m、南北6mの発掘区を設定した。

II 調査地の層相

調査地は春日山西麓の能登川扇状地の微高地にある。発掘区内の層序は盛土（厚さ0.1m）以下、黒色土（作土、厚さ0.15m）、暗灰褐色砂質土（厚さ0.1m）、淡灰色砂礫（厚さ0.15m）、灰茶色砂礫（厚さ0.35m）、茶灰色細砂（厚さ0.15m）と続き、現地表下約1.0mで暗褐色砂の地山に至る。地山上面の標高は概ね88.8mである。

III 検出遺構・遺物

地山上面で斜行する素振りの溝を3条検出した。幅約0.4m、深さは0.05～0.1mである。出土遺物はないが、14世紀以前の耕作に伴う溝であろう。淡灰色砂礫層上面で中世以降と思われる東西方向の自然流路を検出した。北肩および南肩が調査区外にあるため幅員は不明であるが、深さ0.7mである。灰茶色砂礫層の上面でも再度遺構検出を行ったが、遺構は検出できなかつた。自然流路の堆積層である淡灰色砂礫から14世紀の土師器片、瓦器片が出土した。本調査で検出した自然流路は位置関係からみて第3次調査検出の自然流路の続きである可能性がある。（山前智敬）

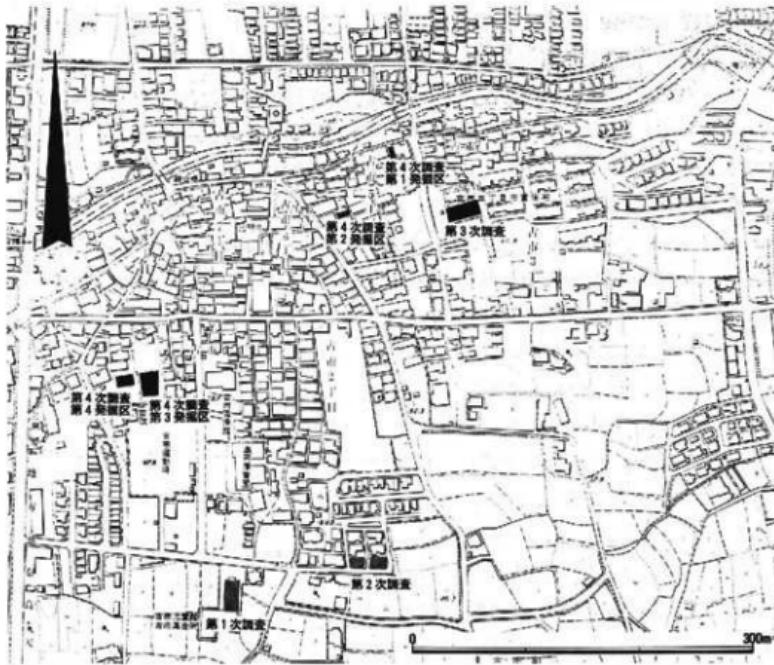


第4次調査 遺構平面図 (1/200)

3 古市遺跡の調査

古市町の西部地域に存在する遺跡は、従来は狐塚古墳、大塚古墳といった古墳と、古墳時代から奈良時代にかけての遺物散布地が知られていただけで、詳細は不明であった。

このうち遺物散布地については、散布地の北辺付近で昭和57年度と平成7年度に奈良市教育委員会が発掘調査を実施した（第1・2次調査）。そのうち、平成7年度の第2次調査では、古墳時代中・後期の竪穴住居、掘立柱建物などを検出した。なお、同年度には北は岩井川南岸、南は地蔵院川北岸、東は県道高畠山町線、西はJ R桜井線までの範囲で踏査を実施し、全域で弥生時代から近世にかけての遺物が散布していることを確認した。本年度は、第2次調査の北から岩井川南岸までの地域で遺構の分布を確認するために第3・4次調査を実施し、古墳・奈良・平安・安土桃山時代の遺構を検出した。したがって、第2～4次調査地付近には古墳～安土桃山時代の複合遺跡が存在するものと判断される。



発掘調査位置図 (1/5,000)

(1) 第3次調査

所在地 奈良市古市町1560-1他

調査期間・面積 平成8年6月11日～7月17日 300m²

調査原因 古市第10号市営住宅建替（奈良市長通知）

I 調査の目的

調査地は高円山の西麓の岩井川によって形成された扇状地の微高地上にあたり、調査地の北側には岩井川が流れている。今回の調査は、岩井川南岸にまで遺跡が広がっているかどうかを確認することを目的とした。

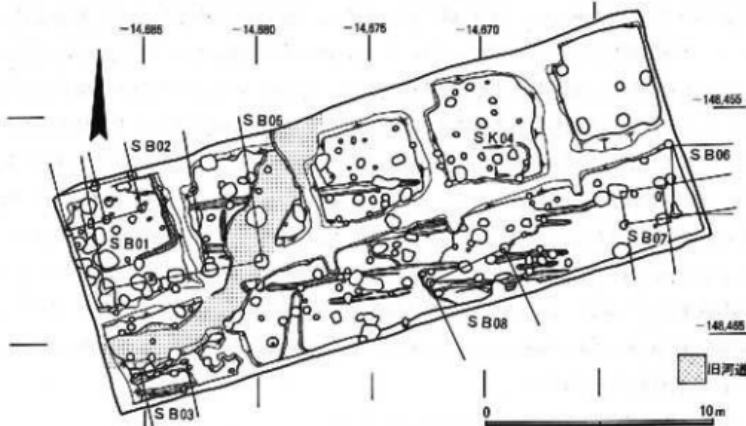
II 調査地の層相

層序は、旧市営住宅建設に伴う造成盛土、黒灰色土（旧作土）、灰色砂質土（床土）、黄灰色粘土と続き、現地表下約0.5mで黄褐色砂礫または茶褐色土の地山となる。地山上面の標高は94.3mから94.1mで東から西へとゆるやかに下る。発掘区西半では、黄灰色粘土と地山の間に茶灰色砂質土の整地土が広がっていた。整地土からは弥生時代後期の土器、古墳時代中期から後期にかけての須恵器、土師器、奈良時代の須恵器が出土した。このことから、奈良時代に付近が整地されたものと考えられる。

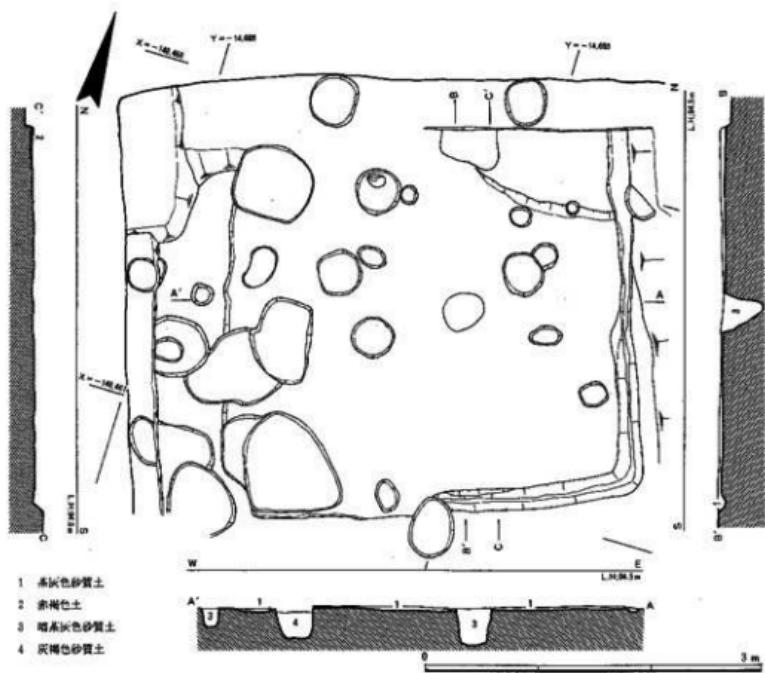
III 検出遺構

主な検出遺構は、重複関係、出土遺物などから古墳時代と奈良・平安時代の大きく2時期にわけることができる。以下、時期ごとに主な検出遺構について述べる。

古墳時代の遺構 壁穴住居1棟、掘立柱建物2棟、土坑がある。土坑以外はすべて奈良



第3次調査 遺構平面図 (1/250)



堅穴住居 SB01 平面・断面図 (1/50)

時代の整地層の下で検出した。

SB01は発掘区北西隅で検出した平面方形の堅穴住居である。東西長3.5m、南北長3.5m以内である。検出面からの深さは約0.03mである。地山面を床面としている。壁面に沿ってめぐる溝は東壁、南壁の一部でのみ残存していた。溝は幅約0.2m、検山面からの深さは約0.08mである。床面中央北寄りに東西約0.6m、南北0.3m分、深さ0.05mの焼土坑がある。カマドであると考えられる。埋土中の出土遺物から住居の使用下限は古墳時代中期と考えられる。SB02は発掘区北西隅で検出した東西2間(3.4m)、南北2間以上の総柱建物である。北側は発掘区外へと続く。柱間寸法は東西1.7m等間、南北1.6mである。SB03は発掘区南西隅で検出した東西2間(2.0m)、南北2間以上の南北東掘立柱建物である。南側は発掘区外へと続く。柱間寸法は東西1.0m等間、南北1.0mである。柱穴埋土から古墳時代後期の土器が出土した。SK04は発掘区中央東寄りで検出した平面長円形の土坑である。東西長約2.0m、南北長約1.4mである。検出面からの深さは約0.1mである。埋土から古墳時代後期の土器が出土した。

奈良・平安時代の遺構 挖立柱建物4棟がある。

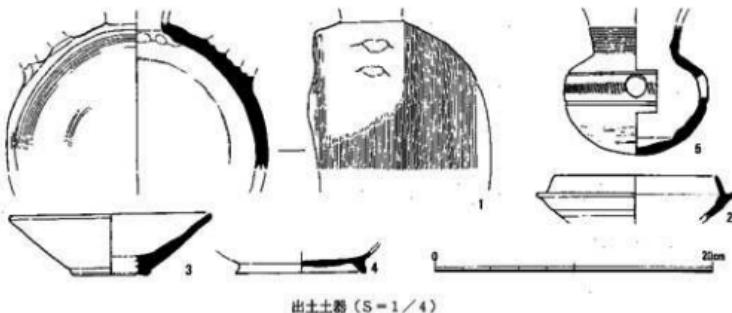
S B 05は発掘区北西隅で検出した東西3間(4.5m)、南北3間(3.6m)以上の南北棟掘立柱建物で東側に廂がつく。北側は発掘区外へと続く。柱間寸法は東西1.5m等間、南北1.8m等間で、廂の出は2.4mである。奈良時代の整地層上面で検出した。S B 06は発掘区南東隅で検出した東西2間(3.0m)以上、南北2間(3.0m)の東西棟掘立柱建物である。東側は発掘区外へと続く。柱間寸法は東西1.5m、南北1.5m等間である。S B 07は発掘区南東隅で検出した東西2間以上、南北2間以上の縦柱建物である。東、南側は発掘区外へと続く。柱間寸法は東西1.8m、南北1.5mである。S B 08は発掘区中央南寄りで検出した東西2間(3.6m)、南北2間以上の南北棟掘立柱建物である。南側は発掘区外へと続く。柱間寸法は東西1.8m等間、南北2.1mである。柱掘形埋土から、平安時代前期の黒色土器、越州窯系青磁碗が出土した。

III 出土遺物

出土遺物には、弥生時代から平安時代にかけての土器類がある。ここでは主なものについて記す。1・2は奈良時代の整地土から出土した古墳時代後期の須恵器である。1は提瓶で、肩部に把手が付く。体部全体にカキメ調整が施されている。2は杯身である。3・4は建物 S B 08の柱穴から出土した平安時代後期の土器で、3は越州窯系青磁碗、4は黒色土器A類杯である。

5は調査地近くで採取した古墳時代後期の須恵器底である。

(安井宣也)



出土土器 (S = 1/4)

IV まとめ

今回の調査地でも古墳時代の遺構を検出し、本遺跡の範囲は岩井川南岸まで広がっていることが明らかになった。したがって、古墳時代の集落遺跡は、古市町北部一帯の微高地に広がっているものと考えられる。さらに今回の調査区では奈良・平安時代の遺構も検出した。本遺跡が古墳時代だけでなく、奈良・平安時代の遺跡も含めた複合遺跡であることが判明した。また奈良時代の整地土内から弥生時代後期の土器が出土したことにより、本調査地周辺に弥生時代の遺跡の存在も考えられる。

(原田憲二郎)

(2) 第4次調査

所在地 奈良市古市町1231-1、1506、1513他
調査期間・面積 平成8年8月5日～10月7日 466m²
調査原因 古市小集落地区改良事業（奈良市長通知）

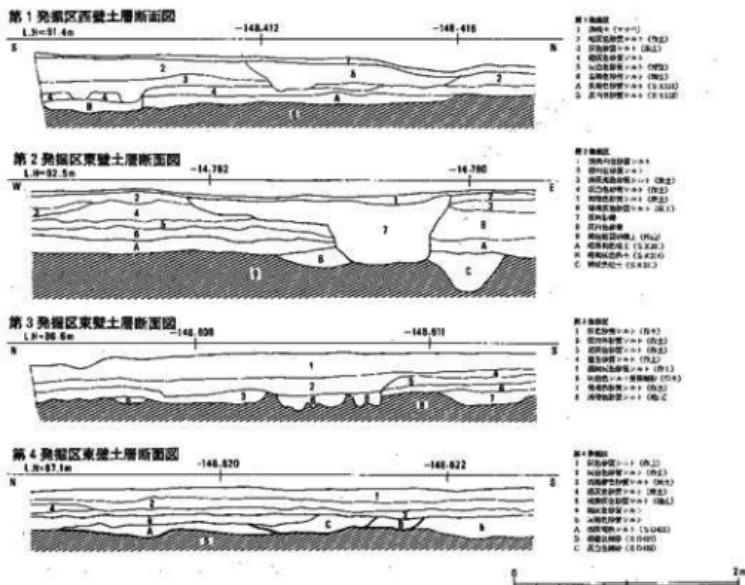
I 調査の目的

調査地は、第3次調査と同じ扇状地の微高地上に位置する。第3次調査の古墳時代遺構群の確認を受け、岩井川南岸における古市遺跡の北限、西限の確認を目的とした。このため発掘区を4つ設けた。以下、発掘区別に概要を記載する。

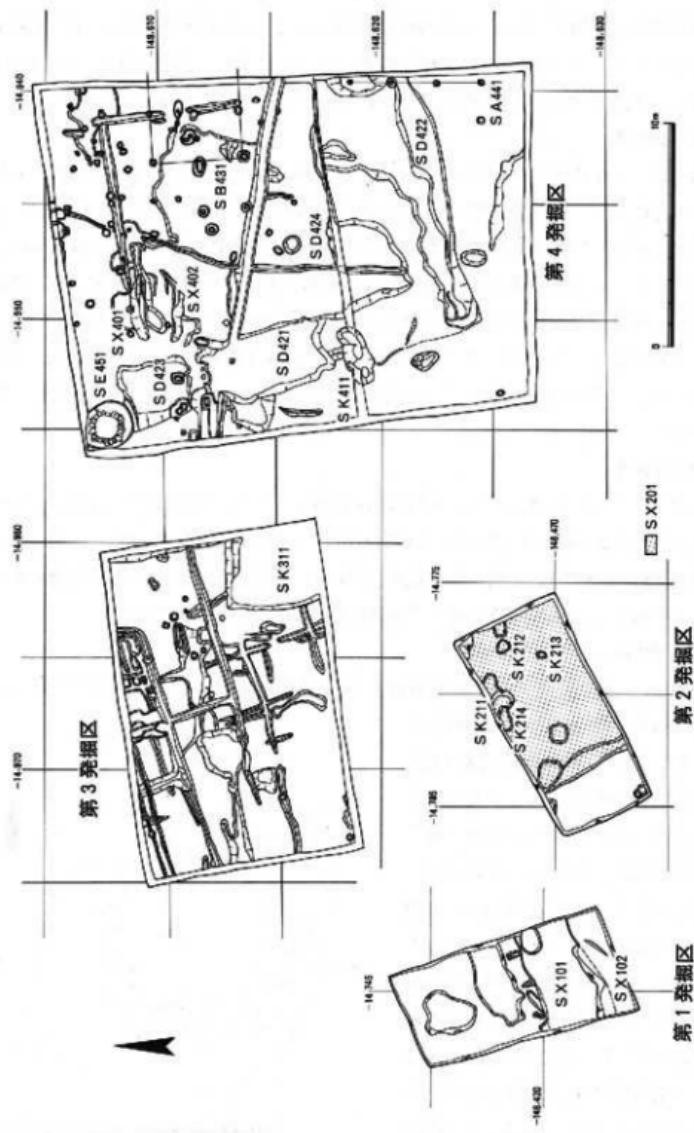
II 調査の概要

第1発掘区

岩井川の近隣、微高地の北端に位置する。層序は、造成土、暗灰色砂質シルト、灰色砂質シルト、灰色砂質シルト、橙灰色砂質シルトと続き、現地表下約0.3mで黄褐色砂質シ



第4次調査 第1～4発掘区土層断面図 (1/50)



第4次調査 第1~4発掘区遺構平面図 (1/250)

ルト（小礫を多数含有）の地山となる。遺構面は地山上面であり、標高は概ね90.9m。地山は堆積状況から旧岩井川による河川堆積と考えられる。検出した遺構には、不明遺構SX-X101・102があり、SX101から古墳時代後期の土器が出土した。重複関係からSX102はSX101より新しいが、明確な時期は不明。また搅乱土坑から近世の平瓦が2点出土した。

第2発掘区

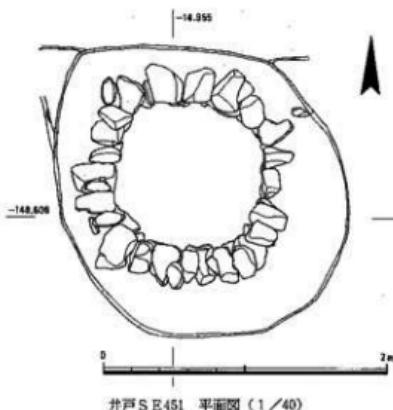
微高地の中央部西寄りに位置する。層相は、淡黄白色砂質シルト、橙白色砂質シルト、灰白色砂質シルト、褐橙色砂質シルト、暗橙灰色砂質シルト、暗茶褐色粘土（SX201）と続き、現地表下約0.6mで褐色粘質砂礫土の地山となる。遺構面は地山上面であり、標高は概ね91.5m。検出した遺構には、整地の可能性があるSX201、土坑SK211～214がある。SX201およびSK211・213・214からは古墳時代中期後半から後期の土器、SK212からは古墳時代の土器が出土した。重複関係からSX201はK211～214より新しい。なおSX201の埋土には炭化物が混じる。またSK214は埋土全体に焼土と炭化物が混在し、焼土を廃棄した土坑の可能性がある。

第3発掘区

微高地のほぼ西端に位置する。層相は、灰色砂質シルト、灰白色砂質シルト、褐灰色砂質シルトと続き、現地表下約0.4mで浅橙色砂質シルトの地山となる。地山上面の標高は、概ね86.1m。第4発掘区と約0.5mの比高差があり、本発掘区は水田耕作による削平を受けていると考えられる。15世紀以降の土器が出土した土坑SK311を検出した。

第4発掘区

層相は、灰色砂質シルト、灰白色砂質シルト、浅褐橙色砂質シルト、褐灰色砂質シルト（以下a層）あるいは灰褐色砂質シルト（以下b層）と続き、現地表下約0.4mで浅黄灰色砂質シルトの地山となる。地山上面の標高は、概ね86.6m。遺構面は地山およびa・b層上面の三面にあたるが、a・b層上面での遺構検出が困難なため、検出は全て地山上面で行なった。検出遺構には、溝5条、土坑1基、掘立柱建物1棟、掘立柱塗1条、井戸1基、不明遺構2基がある。いずれも遺物が少なく明確に時期を決定できるものはない。以下、主な検出遺構について述べる。



井戸SE451 平面図(1/40)

S D 421・422は北西から南東方向の素掘りの溝で、南端で東方向へほぼ直角に曲がる。国土方眼方位北に対する溝の振れは共に西へ 17° であり、S D 422はS D 421の改修の可能性がある。また埋土が異なるが、溝心の位置・方向、底面の標高からS X 423はS D 421・422と一連のものである可能性が高い。なお堆積構造からS X 402では水が流れていた可能性が高い。土層観察からS D 421・422は、a層より古く、b層より新しい。また素掘りの溝S D 424はS D 421と同じ埋土であり、同時期の可能性が高い。S K 411は南北約1.0m、東西約2.5m、深さ約0.6mの土坑であり、重複関係からS D 421・422より古い。

S B 431は南北2間、東西2間以上の掘立柱建物である。柱間寸法は南北、東西共に2.1m等間である。柱穴埋土から14世紀以降の土器が出土した。またS A 441は南北3間(6m)の掘立柱屋であり、柱間は2.0m等間である。重複関係からS D 421・422より新しい。

S E 451は石組みの井戸で、重複関係からa層やS D 423より新しい。ただし崩落の危険性が高く、完掘していない。埋土から安土桃山時代の瓦質土器と板状木製品が出土した。

S X 401・402は素掘りの溝である。相対する内側の壁をほぼ垂直に掘削されているため、断面は逆三角形や台形になる。ただし深さはS X 401の約0.5mに対し、S X 402は約0.1mと浅い。幅員はS X 401が約0.6m、S X 402が約0.4m、長さは双方とも約6.0mである。付近の地山上面から縄文時代の石器が出土した。

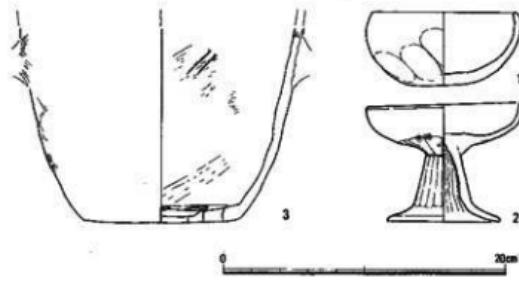
(大庭淳司)

III 出土遺物

古墳時代と中世の土器類が遺物整理箱6箱分、近世の平瓦が2点、安土桃山時代以降の板状木製品が1点、縄文時代の石器が1点ある。この内、古墳時代の土器について記す。

古墳時代の土器には、中期後半から後期にかけての土師器杯・高杯・瓶、須恵器蓋杯がある。1は土坑S K 211から出土した土師器瓶である。体部中央には1対の把手がある。底部には中心部に1箇所、その回りを取り巻いて8箇所の穿孔が施されている。2は土坑S K 212から出土した土師器杯で、口縁端部は内傾する。3はS X 201から出土した土師器高杯で、碗状の杯部をもつ。

(安井宣也)



出土上器 (1/4)

4 七ツ塚古墳群の調査 第1次

所在地 奈良市山町1020、1020-2、1271、1272

調査期間・面積 平成9年2月3日～3月27日 39m²

調査原因 市道南部478号線建設（奈良市長通知）

I 調査の目的

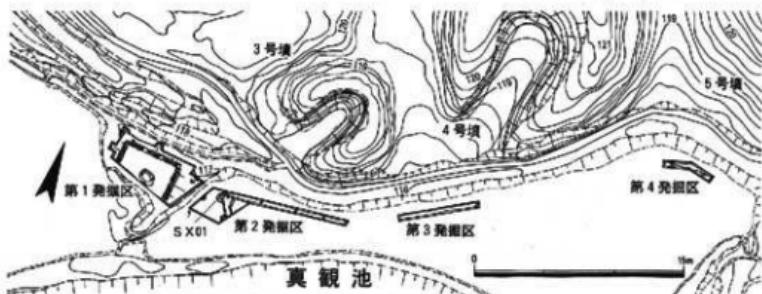
調査地は、七ツ塚古墳群第3～5号墳のすぐ南側で、現状は水田である。本調査では古墳に伴う墓道の検出を目的とした。このため発掘調査に先立って地形・墳丘測量を行い、古墳の石室開口部の延長線上と旧地形が残存していると考えられる部分に発掘区を設けた。



II 調査の概要

第1発掘区(24m²)は水田間の高まりに設定した。層相は表土直下で淡黄灰色砂質シルトの地山（標高116.8m）となる。地山上面でコの字形の石組を検出した。出土遺物はない。土地所有者の証言から明治以降に構築された納屋の礎石であると考えられる。第2発掘区(10m²)は3号墳の石室開口部の延長線上に設定した。層相は作土直下で灰白色細砂の地山（標高116.3m）になる。地山上面で土坑S X01を検出した。平面椭円形の土坑で、東西1.2m、南北1.0m以上、深さ0.1mである。埋土から6世紀後半の須恵器の杯蓋が出土した。位置関係から墓道の可能性がある。第3・4発掘区(3m²・2m²)はそれぞれ4・5号墳の石室開口部の延長線上に設定した。層相は共に作土直下で黄白色シルトの地山（標高116.3m前後）になる。検出遺構および出土遺物はなかった。

（大庭淳司）



第1次調査 発掘区位置図 (1/400)

IV 小規模確認調査・試掘調査・工事立会

1 小規模確認調査・試掘調査

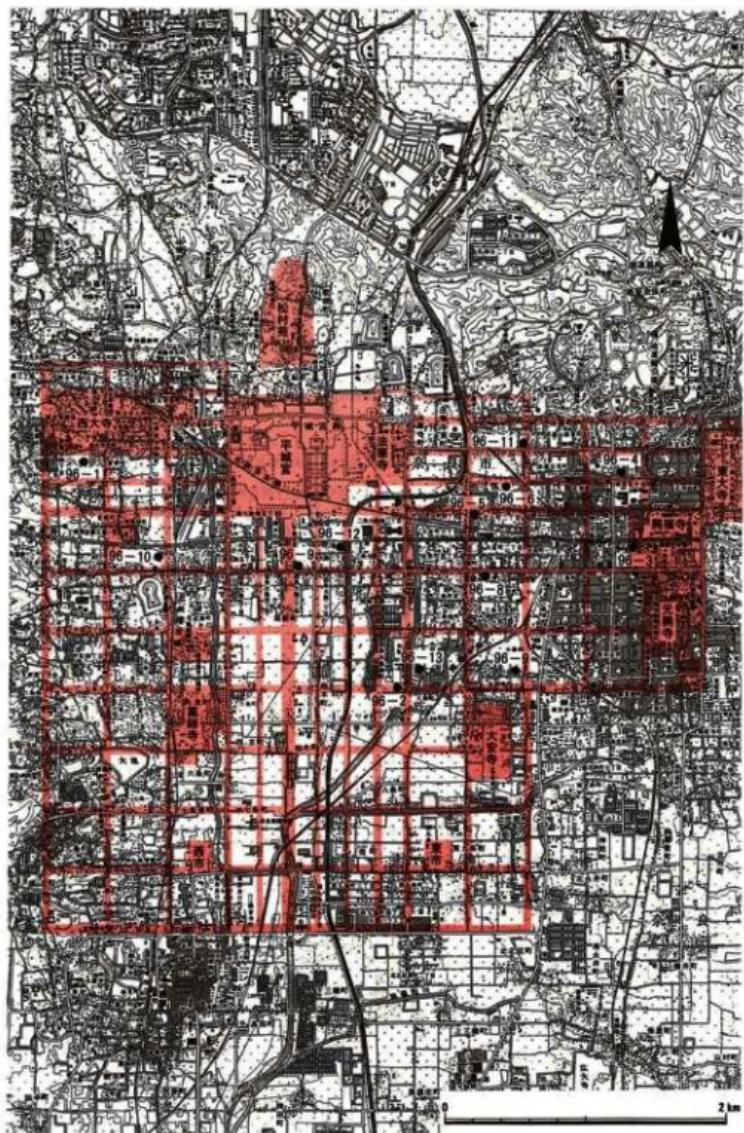
平成8年度は、今まで記述してきた発掘調査以外に、奈良県教育委員会の指導のもと、13件の小規模な確認調査と試掘調査を実施した。その結果、良好な遺構が発見された場合には、本調査の実施を届出者と協議した。

なお、調査記録と出土遺物は、奈良市埋蔵文化財調査センターで保管している。

96-1次	(H8.8.17)	平城京左京二条四坊九・一坪	青野町381-1他	12m ²	後藤鉄庄・小松 進/分譲住宅販売	H8-3054
【調査結果】現状：水田・山林等 遺構検出面：灰白色粘土質（地山・奈良時代遺構面）上面・標高80.2~81.0m 検出遺構：なし 【備考】工事先行。段丘上部の土段丘斜面と谷を盛土造成するもので、盛土造成部では工事が遺構面に及ぼす影響は小さい。						
96-2次	(H8.7.10)	平城京左京五条二坊十三坪	大安寺西一丁目380-7他	8m ²	経本信朝/資材販賣・宅地造成	H8-3978
【調査結果】現状：水田 遺構検出面：後灰褐色粘土（地山・奈良時代遺構面）上面・標高56.0m（現G.L.-1.3m） 検出遺構：柱穴、土坑（主に奈良時代） 【備考】盛土造成及び掩埋工事で、掩埋工事の削削は遺構面に及ぼさない。						
96-3次	(H8.7.18)	興福寺町境内	西御門町3-1、4-1	25m ²	藤原商事/市務所ビル改築	H7-2827
【調査結果】現状：宅地 通常検出面：黄褐色砂礫（地山・奈良時代遺構面）上面・標高82.2m（現G.L.-1.3m） 検出遺構：柱穴（時期不明） 【備考】地山表面の遺構密度が低いので、工事を手。						
96-4次	(H8.7.30)	平城京左京二条六坊一坪	法連町南二丁目1144-1	30m ²	五十鈴建設/共同住宅新築	H8-3063
【調査結果】現状：宅地 遺構検出面：淡灰色砂礫（地山・奈良時代遺構面）上面・標高75.1m（現G.L.-1.8m） 検出遺構：土坑、旧河道（時期不明） 【備考】基礎工事が遺構面に影響を及ぼす可能性があり、地盤の上空照査を実施。（平城京第359次調査）						
96-5次	(H8.8.26)	平城京左京三条出羽 墓	芝町一丁目10-2+3	18m ²	西原 誠/事務所付共同住宅新築	H8-3056
【調査結果】現状：宅地 遺構検出面：黄灰色粘土（地山・奈良時代遺構面）上面・標高63.9m（現G.L.-1.7m）、面上に奈良時代遺物包含層 検出遺構：浜田、旧河川 【備考】基礎工事が遺構面に影響を及ぼす可能性があり、地盤の上空照査を実施。（平城京第357次調査）						
96-6次	(H8.9.18)	平城京左京二条門坊一四坪	通町234-1	12m ²	生駒今基/志賀村共同住宅新築	H8-3123
【調査結果】現状：水田 遺構検出面：灰色粘土（旧河岸）上面・標高66.4m（現G.L.-1.3m） 検出遺構：旧河岸（鎌倉時代土器片含む） 【備考】事業者全体会が旧河岸であり、工事を手。						
96-7次	(H8.10.15)	平城京左京五条四坊十四坪	大安寺六丁目771-1	16m ²	鹿木大典/共同住宅新築	H8-3181
【調査結果】現状：宅地 遺構検出面：黄褐色粘土（地山・奈良時代遺構面）上面・標高64.4m（現G.L.-0.8m） 検出遺構：土坑、消火栓 【備考】T字に伴う遮断は遺構面に及ぼさない。						
96-8次	(H8.12.10)	平城京左京四条四坊一坪	三条詮川町6-3+5	11m ²	黒川トマ子(インシンドラコトマ)/事務所	H8-3219
【調査結果】現状：宅地 遺構検出面：黄褐色シルト（地山・奈良時代遺構面）上面・標高63.0m（現G.L.-1.1m） 検出遺構：溝（時期不明） 【備考】地下構造に影響を与えない基礎構造に計画変更し、工事を手。						
96-9次	(H8.12.11)	平城京左京三条一坊四坪	三条大路二丁目458-4他	6m ²	米澤之雄/店舗新築	H8-3203
【調査結果】現状：水田 遺構検出面：黄色粘土質（地山・奈良時代遺構面）上面・標高62.8m（現G.L.-0.5m） 検出遺構：素振り溝 【備考】地下構造に影響を与えない基礎構造に計画変更し、工事を手。						
96-10次	(H9.2.25)	平城京左京二条三坊三・四坪	宝来一丁目57-1	20m ²	萩原一夫/共同住宅新築	H8-3110
【調査結果】現状：畠地 遺構検出面：黄褐色シルト（地山・奈良時代遺構面）上面・標高70.7m（現G.L.-2.3m）、地山直上で奈良時代の遺物包含層を確認。検出遺構：なし 【備考】地下構造に影響を与えない基礎構造に計画変更し、工事を手。						
96-11次	(H9.3.8)	平城京左京一条三坊十五坪	法通町704-1他	12m ²	井田 亨/店舗新築	H8-3253
【調査結果】現状：宅地 遺構検出面：黄褐色シルト（地山・奈良時代遺構面）上面・標高68.2m（現G.L.-1.3m） 検出遺構：土坑、溝 【備考】地下構造に影響を与えない基礎構造に計画変更し、工事を手。						
96-12次	(H9.3.10)	平城京左京二条一坊一四坪	三条大路二丁目546-5他	18m ²	八咫日暮工業機/宿泊・工場新築	H8-3396
【調査結果】現状：宅地 遺構検出面：暗黃褐色土上面（地山・奈良時代遺構面）上面・標高56.9m（現G.L.-1.6m） 検出遺構：なし 【備考】基礎工事が遺構面に影響を及ぼすため、発掘調査について協議中。						
96-13次	(H9.3.11)	平城京左京六条三坊三・六坪	宝の森三丁目306	6m ²	永保徳之/共同住宅新築	H8-3033
【調査結果】現状：水田 遺構検出面：暗黃褐色粘土（地山・奈良時代遺構面）上面・標高56.9m（現G.L.-1.6m） 検出遺構：なし 【備考】地質調査の結果次第では基礎工事が遺構面に影響を及ぼす可能性もあり、基礎構造を検討中。						

※上欄左から、調査次数・調査日・遺跡名・調査地・調査面積・事業者・事業内容・審査受付番号

小規模確認調査・試掘調査一覧



試験・小規模確認調査位置図（1／50,000 数字は調査次数）

2 工事立会一覧

提出された埋蔵文化財発掘届出書及び現状変更等許可申請書に基づいて、文化庁・奈良県教育委員会から奈良市教育委員会が上木工事の際に立会うようにと指示されたものうち、平成8年度に立会調査を実施したものは、下記の表のとおりである。

● 4~6ヶ月期(80条を除く) 実施分

57条2・3(周知の埋蔵文化財包蔵地内、届出・通知)

番号	提出日	遺跡名	調査地	起止日	工事内容	新番号	現況	備考(次回の最大規模、所見など)
3	8.04.02	左京七条坊一坪	東九条町104-29		奥井元堂 個人住宅新築	H7-8251	半壇 現G.L.-0.3m削除、造成土内	
2	8.04.03	左京五条坊十二坪	大安寺六丁目840-3		人西義之 個人住宅新築	H7-8252	完成工事終了、高さG.L.-0.9m削除、山崎山上	
3	8.04.06	左京九条坊一坪	東九条町136-1		堀尾一 個人住宅新築	H7-8182	水田 現G.L.-0.3m削除、山崎山上	
4	8.04.09	左京七条坊三坪・五坪	八條一丁目3-4		植屋昇 個人住宅新築	H7-8270	水田 完成工事終了、高さG.L.-0.6m削除、近野下地区内	
5	8.04.10	左京・三条二坊一坪	法華寺町1082		川越政之 個人住宅新築	H7-8199	相模原 現G.L.-1m削除、相模原市境付近、W.W.-1m削除	
6	8.04.12	左京七条坊六坪	法華寺町201		川村和子 個人住宅	H7-8354	水田 現G.L.-0.3m削除、造成合意箇内	
7	8.04.15	左京七条坊四六坪・十一坪	大安寺一丁目204-4階		ひりか根津 個人住宅新築	H7-8263	水田 現G.L.-0.7m削除、山崎山上	
8	8.04.16	左京七条坊一坪	西九条町120-26號		松原一 個人住宅新築	H7-8264	半壇 現G.L.-0.6m削除、山崎山上	
9	8.04.15	左京七条坊三七店	西九条町120-1		北川久彌 個人住宅新築	H7-8258	水田 現G.L.-0.4m削除、造成合意箇内	
10	8.04.16	左京七条四四店E・十二坪	西九条町120-1丁目3-4		鶴澤西之助 個人住宅新築	H7-8107	道路 現G.L.-1.8m削除、谷筋移設箇内	
11	8.04.16	左京七条二坊十二・十一坪	大安寺一丁目355-3階		大内利之 個人住宅新築	H7-8259	水田 現G.L.-0.3m削除、木造下脚土内	
12	8.04.17	右京北二三坊二坪	西大寺新町1-14丁1-1		小寺清志 個人住宅新築	H7-8245	半壇 現G.L.-0.3m削除、木造下脚土内	
13	8.04.18	右京北二三坊六坪	西大寺北二丁目1-7		喜屋武亮 個人住宅新築	H7-8265	半壇 現G.L.-1.0m削除、造成合意箇内	
14	8.04.18	左京・三条五十五町	法通院町28		中野豊彦 個人住宅新築	H7-8289	半壇 現G.L.-0.4m削除、造成土内	
15	8.04.19	右京北二三坊八坪	秋葉町月町前33		伊藤正義 個人住宅新築	H7-8287	半壇 現G.L.-0.4m削除、造成土内	
16	8.04.23	左京七条坊五坪	今江町20-1		大内和也 個人住宅新築	H7-8294	半壇 現G.L.-0.5m削除、造成合意箇内	
17	8.04.26	膳福寺宿内	西門町43-1他		中垣豊樹 個人住宅新築	H7-8161	半壇 現G.L.-0.3m削除、造成土内	
18	8.04.30	西大寺境内	西大寺本町1-1丁目80-2階		中西和也 個人住宅新築	H7-8201	半壇 現G.L.-0.3m削除、木造下脚土内	
19	8.05.02	右京・三条二坊一坪	三条町1丁目1-1		斎藤正一 工場改修改築	H7-8359	半壇 現G.L.-1.0m削除、造成合意箇内	
20	8.05.07	左京・三条二坊一坪	西大寺町114-3		津田新一 当社新築	H7-8348	半壇 現G.L.-1.2m削除、地上上部現G.L.-1.1m削除	
21	8.05.07	左京七条坊一坪	光元町1丁目5-5		貴賀義裕 個人住宅新築	H7-8004	半壇 現G.L.-1.4m削除、地上上部現G.L.-1.2m削除	
22	8.05.08	左京六条一坊二寸・厚	人安寺一丁目63-1		森木伸子 個人住宅新築	H7-8003	水田 現G.L.-0.2m削除、木造作土内	
23	8.05.10	右京七条二坊二坪	五条一丁目51-2		斎藤義典 個人住宅新築	H7-8271	半壇 現G.L.-0.6m削除、木造作土内	
24	8.05.10	左京・三条五十五町十二坪	桂川町49-3		中垣信夫 個人住宅新築	H7-8281	半壇 現G.L.-0.5m削除、造成合意箇内	
25	8.05.10	右京四条一坊二・六坪	西条大寺一丁目1-1他		田原一 地盤改良	H7-8004	半壇 現G.L.-0.5m削除、地盤上現G.L.-0.3m削除	
26	8.05.13	右京二条一坊一坪	三人丸町1丁目72-1他		高橋義光 個人住宅新築	H7-8205	半壇 現G.L.-0.5m削除、造成土内溝削	
27	8.05.13	西大寺境内	西大寺新町159-2		五月三重 工場改修改築	H7-8351	半壇 現G.L.-1.0m削除、造成合意箇内	
28	8.05.14	左京・三条二坊二坪	近江好行 新規開拓	五月三重	中野義典 個人住宅新築	H7-8009	半壇 現G.L.-0.4m削除、地盤上	
29	8.05.16	右京三条三坊九条	平松一丁目25-1		島田義寛 個人住宅新築	H7-8244	半壇 現G.L.-1.1m削除、木造作土内	
30	8.05.18	南紀伊勢跡	南紀伊勢町161-10		小林一力 個人住宅新築	H7-8398	半壇 造成土内溝削	
31	8.05.20	右京五条二坊七坪	五条一丁目801-3		上林成虎 個人住宅新築	H7B-3010	半壇 工事実行	
32	8.05.20	元興寺境内	高野町1083-1		高須義長 櫻花園地盤改良	H7-8019	半壇 現G.L.-0.7m削除、造成土内	
33	8.05.21	左京五条一坊四坪	五条1号1-1丁目1-1他		猪俣一郎 櫻花園地盤改良	H7-8233	8号2階 現G.L.-0.5m削除、造成物含む内	
34	8.05.23	左京五条一坊二坪	松木町556-4他		川上治郎 工況見直し	H7-8047	水田 工事実行、現G.L.-0.5m削除、造成合意箇内	
35	8.05.25	右京二条一坪	半松一丁目72-179地		中西信也 個人住宅新築	H7-8002	半壇 現G.L.-0.5m削除、地盤上現G.L.-0.4m削除	
36	8.05.31	左京・三条五十五町十八坪	伏見町975-5他		川上義一 個人住宅新築	H7-8285	半壇 現G.L.-0.5m削除、地盤上	
37	8.06.01	左京六条三坊二十二坪	大安寺二丁目21-1他		斎藤千尋 新規開拓	H7-8006	半壇 現G.L.-0.5m削除、造成物含む内	
38	8.06.27	左京五条二坊二坪	東九条町1-2		松村義典 松村新規	H7-8291	半壇 現G.L.-0.5m削除、造成物含む内	
39	8.06.01	左京五条三坊二十二坪	大安寺二丁目209-1他		松村義典 分譲宅地造成	H7-8005	半壇 現G.L.-0.5m削除、現G.L.-0.5m以下路地	
40	8.06.06	左京三條四四店二坪	大安寺二丁目3-24		大庭義一 櫻花園地盤改良	H7-8291	半壇 現G.L.-1.3m削除、地盤上現G.L.-1.1m削除	
41	8.06.05	左京四条六十三坪	南城町109		水戸廣一 個人住宅新築	H7-8012	半壇 現G.L.-1.0m削除、地盤上現G.L.-0.2m削除	
42	8.06.06	紀伊・岐阜	西紀伊町17-1		(裏見和 北川正也)櫻花園地盤改良	H7-8018	半壇 現G.L.-0.5m削除、造成物含む内	
43	8.06.06	右京七条一坊十三坪	L-877106-4他		大庭義一 近畿工房	H7-8000	半壇 現G.L.-1.0m削除、木造作土内	
44	8.06.07	左京九条一坊二坪	西九条町1丁目3-3		岸田義利 櫻花園地盤改良	H7-8307	半壇 現G.L.-1.2m削除、木造作土内	
45	8.06.10	左京・三条四四五坪	法源町165-1		岡田千代子 近畿工房	H7-8200	半壇 現G.L.-0.3m削除、造成土内	
46	8.06.13	左京・三条六坊七坪	法源町1228-1他		猪俣一郎 個人住宅新築	H7-8020	半壇 現G.L.-1.0m削除、現G.L.-0.5m以下路地	
47	8.06.13	左京・三条五十五町五坪	松木町1556-1他		近江トヨハラ 櫻花園地盤改良	H7-8005	半壇 現G.L.-0.5m削除、造成土内	
48	8.06.17	右京・三条三坊五坪	貴部町1256-1他		長谷川秀夫 櫻花園地盤改良	H7-8191	半壇 造成土内溝削	
49	8.06.17	南紀・笠置跡	笠置町133-1		井上弘 個人住宅新築	H7-8022	半壇 現G.L.-1.1m削除、地盤上	
50	8.06.20	松林苑跡	長谷町2077-2		荒田義典 新規開拓	H7-8028	半壇 現G.L.-0.5m削除、造成物含む内	
51	8.06.21	元興寺境内	龍谷町1083		杉本道成 個人住宅新築	H7-8001	半壇 現G.L.-0.5m削除、造成土内	
52	8.06.24	左京五条一坊二・六坪	大安寺二丁目509-3他		吉井義典 吉井新規	H7-8087	半壇 現G.L.+1.0m盛土造成	
53	8.06.24	左京四条二坊四坪	北河町4756-1他		鶴澤西之助 櫻花園地盤改良	H7-8050	水田 現G.L.+1.0m盛土高さ	
54	8.06.24	左京・三条七条六坪	御所町18		松井義典 個人住宅新築	H7-8095	半壇 現G.L.-0.5m削除、地盤上	
55	8.06.25	左京五条三坊七坪	大安寺二丁目675-5		建田義典 新規開拓	H7-8334	半壇 現G.L.+2.5m、造成G.L.-9.1m削除	
56	8.06.28	二条大路・菩提寺道路	曾原町231他		新井尚義 櫻花園地盤改良	H7-8264	Y壇 現G.L.-0.8m盛土造成	

● 7～9月期（80条は5～9月期）実施分

57条2・3（周知の埋蔵文化財包蔵地内、届出・通知）

番号	調査日	遺跡名	調査地	届出名	工事内容	届出番号	現況	備考（改変の歴史的継続、所見など）
57	8.07.01	朱雀大路・三条大路	三条大路三丁目457-3地	福井市青	共同住宅新築	H8-3033	宅地	地中柱、地上上面G L-1.1m
58	8.07.01	古市町城跡	古市町1840-52	米田耕正	個人住宅新築	H7-3094	宅地	高G L-1.0mまで造成盛土を確認
59	8.07.02	右京三条内防十四坪	宝来西丁目904	藤久保真美	空き宅邸整地	H8-3064	宅地	工事先行、造土造成、築壁工事
60	8.07.03	右京三条内防七坪	宝来西丁目934-2	松村義典	空き宅邸整地	H8-3083	宅地	工事先行、造土造成、築壁工事
61	8.07.05	右京北辺二塚三坪	西大寺町一丁目270-1他	渡辺忍男	共同住宅新築	H8-3046	水田	高G Lを維持
62	8.07.05	左京五条・塚十三坪	大安寺西丁目330-7他	松本信明	別荘開発・移転	H8-3078	水田	底G L-2.0m削除、17年春G L-0.8m削除、BL8.5m
63	8.07.06	左京二条・塚六坪	三条大路二丁目6-7	胸藏 等	個人住宅新築	H8-3061	宅地	高G L-0.5m削除、造成盛土内
64	8.07.10	正觀寺境内	青柳町山崎町	赤崎謙司等	未確認地	H8-3052	宅地	現G L-0.7-0.9m削除
65	8.07.11	京西四條南五坪	南船場町11	木野哲哉	個人住宅新築	H8-3026	耕作地	現G L-0.0m削除、造成盛土内
66	8.07.11	京西四條北六坪	舟掛新町1-10	鶴友美	現地確認	H8-3045	宅地	現G L-1.0mまで旧植物基盤
67	8.07.12	京三島二塚十坪	三条大路二丁目塩堀内	奈良市長	公会堂下水道整	H7-3245	通道	現G L-1.4m削除、遺物含収容
68	8.07.13	總持寺旧境内	東向中町27	熊田止祐	現地・墓園新設	H7-3292	宅地	現G L-1.3m削除、造成盛土内
69	8.07.15	右京三条内防三坪	青野町16-3	木村健治郎	共同住宅新築	H8-3049	宅地	現G L-0.5m削除、造成盛土内
70	8.07.15	左京五条五防十四坪	西木辻八軒町101-11	高木 康	個人住宅新築	H8-3060	宅地	現G L-0.5m削除、造成盛土内
71	8.07.15	右京五条三防十三坪	五条二丁目775-5	今田信雄	個人住宅新築	H8-3085	宅地	現G L-0.3m削除、造成盛土内
72	8.07.22	吉市城跡	吉市町2114-43	南浦幸季	未確認地	H8-3038	宅地	工事先行
73	8.07.22	吉市城跡	吉市町2324-5他	内山幸哉	個人住宅新築	H8-3095	宅地	現G L-4.0m削除、地中上面G L-0.4m
74	8.07.29	吉市城跡	吉市町1705-22	田沼清二	個人住宅改修	H8-3060	宅地	現G L-0.3m削除、造成盛土内
75	8.07.31	左京一条五防十二坪	鶴崎町10	長良氏長	事務所新設	H8-3072	宅地	現G L-0.5m削除、造成盛土内
76	8.07.31	左京一条六防六坪	渡邉町146-5	比木野哲	個人住宅新築	H8-3043	宅地	現G L-0.4m削除、造成盛土内
77	8.08.05	奈良坂町可動敷地	奈良坂町16-6	近藤信造	未確認地	H7-3048	耕作地	造成盛土内
78	8.08.06	左京五条二塚一坪	五条二丁目774-4他	西端裕子	別荘建築新設	H8-3115	道路	現G L-2.6m削除、池籠の跡土内
79	8.08.06	左京五条一塚六坪	法華町1320-9他	鈴木 錦	個人住宅新築	H8-3006	宅地	現G L-4m地平
80	8.08.06	左京五条二塚六坪	四条大路南舟町385-36	元谷勝明	個人住宅改修	H8-3084	宅地	造成盛土内地盤改良
81	8.08.09	左京五条五防九坪	大森町2-4他	北川市鶴子	個人住宅新築	H8-3083	宅地	現G L-0.3m改良、旧水田作土内
82	8.08.12	左京一条一塚一坪	法華町17-7	近江正七	個人住宅改修	H8-3056	宅地	現G L-0.5m削除、地山上面G L-0.3m
83	8.08.12	左京三条五防十五坪	三条坂町201-1他	丸山リヨウ	個人住宅新築	H8-3133	宅地	「事務所」、現G L-0.5m削除、造成盛土内
84	8.08.20	二塚大路	鶴崎田組	鶴崎田組	個人住宅新築	H7-3214	宅地	現G L-1.0m削除、旧水田下水道
85	8.08.21	左京五条三防十三坪	大安寺二丁目147-1	薄田欣次	建物下水道新築	H8-3064	水田	現G L-1.0m削除、造成G L-0.1m削除
86	8.08.22	左京一条五防十一坪	法華町1-1他	西村一夫	個人住宅新築	H8-3041	宅地	現G L-0.3m削除、地山上面G L-0.4m
87	8.08.22	左京一条五防五坪	法華町196-6	一斉三郎	個人住宅新築	H8-3077	宅地	現G L-0.2m削除、造成盛土内
88	8.08.26	左京三条内防四坪	宝来二丁目1779-1	鶴崎田組	青瓦藍盆栽	H8-3092	未確認	現G L-1.2m削除、遺物包含箇面
89	8.08.26	西防二防施廻	四条大路西丁目45-3	中村大蔵	個人住宅新築	H8-3096	宅地	現G L-0.4m削除
90	8.08.26	左京六条二塚十四坪	大寺町二丁目2地内	鶴崎田組	水道管埋設	H8-3138	道路	現G L-1.7m削除、過去の窓跡内
91	8.08.28	石丸坂一塚十一年	西の京町6-2地内	藤原利伸	個人住宅新築	H8-3085	宅地	現G L-1.0m削除、山土上
92	8.08.28	右京三塚二防十五坪	御宿町406-1他	一和宗志郎	個人住宅新築	H8-3113	宅地	現G L-0.2m削除、造成盛土内
93	8.08.28	左京五条二塚二坪	大安寺町59	鶴二郎	青瓦藍盆栽	H8-3129	水田	現G L-2.0m削除・造成
94	8.08.30	左京四条二塚四坪	尼辻町436-11	鶴久木	個人住宅新築	H8-3114	水田	現G L-0.5m削除、地山上面G L-0.7m
95	8.08.30	左京西二条二塚四坪	尼辻町436-16	鶴久木	個人住宅新築	H8-3115	水田	現G L-0.5m削除、地山上面G L-0.7m
96	8.08.30	左京西条二塚四坪	尼辻町436-2	「7-1-214-8」前包土塁造成	H8-3116	水田	現G L-0.5m削除、地山上面G L-0.7m	
97	8.09.02	左京五条五防七坪	大安寺二丁目1787-1	米田 忠	駄菴新築	H7-3219	水田	造成G L-0.1m削除、造成盛土内
98	8.09.02	右京二条・塚八・九坪	二条大路南西丁目地内	森庭英子	遺物調査新設	H8-3051	道路	現G L-0.2m削除、造成盛土内
99	8.09.02	左京三塚五防八坪	氷計町一丁目102	山本一幸	骨室解剖新設	H8-3138	水田	歯土造成
100	8.09.02	左京三条五防八坪	氷計町一丁目103	「ヌエスハ・ラング」	骨室解剖新設	H8-3132	水田	歯土造成
101	8.09.05	東防二丁防施廻	大安寺二丁目2地内	森庭英子	公会堂下水道整	H8-3097	道路	現G L-2.4m削除、過去の窓跡内
102	8.09.05	右京七条一防十四坪	七条町35-1	森庭英子	駄菴新築	H8-3112	水田	現G L-0.5m削除、造成盛土内
103	8.09.09	左京二条一防十坪	法華町196-2地内	鶴久木	個人住宅新築	H8-3093	宅地	現G L-0.5m削除、造成盛土内
104	8.09.10	右京五条二塚四坪	五条一丁目579-1	森本吉平	刀削瓦基礎新築	H8-3036	水田	現G L+0.2m盛土造成
105	8.09.10	左京西四条四防十坪	三条高畠町275-4	西村弘文	個人住宅新築	H8-3069	宅地	現G L-0.4m削除、造成盛土内
106	8.09.12	右京三条二塚十二坪	三人丸路5-1号B68-1	米津一郎	水田	現G L-0.2m削除、水田作土内		
107	8.09.17	左京二条一防十二坪	北斗田町1他	鶴崎田組	水田下水道新設	H7-3275	宅地	現G L-1.4m削除、地山上面G L-0.9m
108	8.09.17	左京七条二塚十坪	七条一丁目735-7	坪井 雄治	個人住宅新築	H8-3101	宅地	現G L-0.3m削除、造成盛土内
109	8.09.17	吉市城跡	古市町2323-3	川北郷	個人住宅改修	H8-3104	宅地	掘削、造成盛土内
110	8.09.18	右京五条二塚九坪	半松二丁目255-4他	鶴屋弘幸	個人住宅新築	H8-3033	宅地	掘削、造成盛土内
111	8.09.18	左京西四条二塚二坪	三条高畠町212-2	「7-9-1-2-1」鉛錠新築	H8-3040	宅地	現G L-0.2m削除、旧水田作土内	

● 80条（国指定史跡地内、現状観察）

番号	調査日	遺跡名	調査地	届出名	工事内容	届出番号	現況	備考（改変の歴史的継続、所見など）
1	8.05.28	史跡東大寺大門境内	都司町境内	水通路管理者	水道管埋設	H8-1017	道路	現G L-1.2m削除、地山上面G L-0.9m、中世土壙基層
2	8.06.07	史跡宇治東朱雀大門	三条高畠町1丁目1-1	都司町	工事設備洗浄	H7-1074	工場	現G L-0.5m削除、遺物合収内
3	8.07.03	史跡大安寺旧境内	大安寺二丁目18-1	(株)大安寺	「木立青苔石造物」古石塔新設	H8-1066	寺院	現G L-0.2m削除、遺物合収内
4	8.08.12	史跡大安寺旧境内	大安寺町1150	武野 淳	水道管埋設	H8-1028	宅地	現G L-0.4m削除、遺物合収内
5	8.08.20	史跡大安寺旧境内	大安寺一丁目11-24	市川 博	宅地内下水道新設	H8-1028	宅地	現G L-0.4m削除、遺物合収内

●10~12月期実施分

57条2・3 (周知の埋蔵文化財包蔵地、届出・通知)

番号	調査日	遺跡名	調査地	届出者	工作内容	振山番号	現況	備考(改変の最大規模、所見など)
112	8.10.02	左京区西六町二丁 左京区北六坊八丁	杉ヶ谷68-4	谷原邦介	良岡住宅新築	H8-3118	宅地	現GL-0.5m削除、造成盛土内
113	8.10.04	左京区北六坊八丁	南新町5	安田辰司	立木町事務所新築	H8-3119	宅地	現GL-0.8m削除、造成盛土内
114	8.10.06	左京区北五坊七・十一 十二	法蓮町279-3	高知小鹿鹿	鹿児住宅新築	H8-3120	宅地	現GL-0.1m削除、造成盛土内
115	8.10.09	石京区三塚三丁 一・二・三	横町町406-1・3	三和住宅	辻先生住宅新築	H8-3113	宅地	現GL-0.3m削除、堆山上面現GL-0.3m
116	8.10.11	元興寺境内	地主町101-1他	舟井 誠	船人住宅新築	H8-3117	宅地	現GL-0.2m削除、盛土内
117	8.10.14	左京区北六坊 左京区北五坊二丁	西池田町251-1他	川瀬浩司	住宅新築	H8-3144	宅地	現GL-0.1m削除、造成盛土内
118	8.10.14	左京区北四西坊八丁	吉田町287-2	田中 美栄子	船人住宅新築	H8-3118	宅地	現GL-0.9m削除、堆山上面現GL-0.6m
119	8.10.16	右京区北四西坊八丁	宋家一丁目190-1他	古川伸哉	船人住宅新築	H8-3150	宅地	現GL-0.8m削除、造成盛土内
120	8.10.16	右京区北二丁 北二丁	一条町1丁目135-2	鶴野伸洋早野	リバーフラット新築	H8-3222	宅地	Hブルーム解体、盛土内
121	8.10.17	右京区北二丁 北二丁	山ノ底1-25-3	山ノ底三	山ノ底新築	H8-3247	宅地	現GL-1.1m削除、造成盛土内
122	8.10.18	平城京御田池跡	北之庄町10-4他	鶴野伸洋	個人住宅新築	H8-3101	水田	現GL-0.5m削除造成
123	8.10.21	左京区北五坊一丁 北五坊一丁	法蓮町334-1	青柳喜重	船人住宅新築	H8-3134	宅地	現GL-0.9m削除、堆山上面現GL-0.7m
124	8.10.21	左京区北五坊十 九丁	七条西町1丁目874-1	安田辰二	個人住宅新築	H8-3146	宅地	現GL-0.1m削除、造成盛土内
125	8.10.21	左京区北五坊八丁	悠の谷一丁目596-1	辰巳伸之松	夏財賃借地造成	H8-3184	水田	現GL-0.5m削除、水田下灌土内
126	8.10.22	右京区北五坊八丁	五条町235-4他	中村 伸一	農家住宅新築	H8-3103	水田	現GL-0.2m削除、水田作土内
127	8.10.29	左京区北四西坊十三 丁	大河内町2丁目120-1他	山岸喜士	個人住宅新築	H8-3091	宅地	現GL-0.8m削除、水田作土内
128	8.10.29	左京区北一丁 北一丁	川上町595-2	荒田将光	賃貸住宅新築	H8-3164	宅地	現GL-1.8m削除、現GL-0.8m以下地抜
129	8.10.29	右京区北一丁 北一丁	尼治町町393-6	(前田)子香	個人住宅新築	H8-3187	宅地	現GL-0.6m削除、造成盛土内
130	8.11.01	左京区北二丁 北二丁	三条大路一丁目459-12	岸 伸男	個人住宅新築	H8-3167	宅地	現GL-0.4m削除、造成盛土内
131	8.11.05	東西院二丁 二丁	東西院町10-7	清水一郎	事務所新築	H8-3094	宅地	現GL-1.0m削除、造成盛土内
132	8.11.06	右京区北三丁 北三丁	平野一丁目16-1他	中川文雄	事務所新築	H8-3119	宅地	現GL-1.2m削除、造成盛土内
133	8.11.07	左京区北六坊十 九丁	小山町1	経保史	事務所新築	H8-3197	宅地	現GL-1.1m削除、造成盛土内
134	8.11.08	左京区北五坊二 二丁	法蓮町731-3	竹林辰次	個人住宅新築	H8-3233	宅地	現GL-0.8m削除、堆山上面現GL-0.8m
135	8.11.08 -20	右京区北遺物敷地	奈良町町2846	市水道 事業者	地下水栓新設 立水栓新設	H8-3226	給水	①現GL-0.5m削除、堆山 ②現GL-0.5m削除、堆山
136	8.11.11	左京区北七坊六 六丁	西包永町4-1他	北原康一	個人住宅新築	H8-3118	宅地	現GL-0.5m削除、盛土内
137	8.11.14	左京区北一 一丁	三条人込町1丁目660-1他	米澤之 賀	青柳喜重新築	H8-3200	水田	現GL-0.6m削除、水田下灌土内
138	8.11.14	左京区北一 一丁	三条人込町2丁目458-4	水澤之 郎	青柳喜重新築	H8-3204	水田	現GL-0.6m削除、水田下灌土内
139	8.11.15	西大寺境内	内丸ノ山町158-1	粉原 勲	個人住宅新築	H8-3100	宅地	現GL-0.5m削除、堆山直上
140	8.11.15	左京区北一 一丁	三条人込町159-1	水澤之 郎	個人住宅新築	H8-3110	宅地	現GL-0.2m削除、造成盛土内
141	8.11.16	右京区北四西坊七 七	青柳町257-1	更賀貞夫	個人住宅新築	H8-3119	宅地	現GL-0.3m削除、造成盛土内
142	8.11.21	左京区北四西坊一 一	西の山町1丁目17-1他	柏原一 勝	門扉・玄關新築	H8-3193	宅地	現GL-0.8m削除、現GL-0.7m以下地抜
143	8.11.25	-一条南大路	寺町寺町1376	中村志吉	門扉・玄關新築	H8-3151	宅地	現GL-0.5m削除、造成盛土内
144	8.11.26	西大寺境内	内丸ノ山町158-1	山本善吉	共用住宅新築	H8-3121	宅地	現GL-0.2m削除、造成盛土内
145	8.11.26	左京区北一 一丁	寺町寺町10-1	森義夫	青柳喜重新築	H8-3232	水田	現GL-0.3m改良、水田作土内
146	8.11.27	右京区北四西坊一 一	青柳町158-2	中川和也	個人住宅新築	H8-3169	宅地	上事先行
147	8.11.27	右京区北四西坊一 一	青柳町458-1	中川和也	個人住宅新築	H8-3281	宅地	下事先行
148	8.11.27	左京区北六 六丁	束坂町町10他	森 寿	青柳喜重新築	H8-3166	宅地	現GL-1.2m削除、堆山上面現GL-1.2m
149	8.11.27	左京区北七 七	川上町573-8	山本和也	個人住宅新築	H8-3230	壁塗	現GL-0.2m削除、現GL-0.2m以下地抜
150	8.11.27	左京区北七 七	川上町573-13	吉田裕作男	個人住宅新築	H8-3222	壁塗	現GL-0.2m削除、現GL-0.2m以下地抜
151	8.11.27	左京区北七 七	川上町573-8	石井義夫	個人住宅新築	H8-3171	壁塗	現GL-0.2m削除、現GL-0.2m以下地抜
152	8.11.29 -03	西一 一丁	三条人込町1-2丁内地	農業会員	木戸西畠新築	H8-3128	壁塗	現GL-1.2m削除、堆山上面現GL-0.9m
153	8.11.29	左京区北二 二丁	四条大路1-246-7	鬼舟志	個人住宅新築	H8-3180	宅地	現GL-0.7m削除、造成盛土内
154	8.12.02	左京区北一 一丁	六条町39-1	渡川川	青柳喜重新築	H8-3224	水田	現GL-0.5m削除、堆山上面現GL-0.3m
155	8.12.06	右京区北一 一丁	左京町170-1他	川口 伸	個人住宅新築	H8-3161	宅地	現GL-0.3m削除、造成盛土内
156	8.12.10	左京区北一 一丁	吉田町109-1	吉田義泰	青柳喜重新築	H8-3226	壁塗	現GL-0.2m削除、造成盛土内
157	8.12.11	左京区北五 五丁	大和町301-3	庄田久平	個人住宅新築	H8-3225	宅地	現GL-0.3m削除、造成盛土内
158	8.12.12	左京区北一 一丁	西九条町2丁目11-1	田中伸治	青柳喜重新築	H8-3230	水田	現GL-0.5m削除、近時代遺物包込内
159	8.12.13	左京区北一 一丁	芝町町14-5	紅口 伸治	個人住宅新築	H8-3172	宅地	現GL-0.4m削除、造成盛土内
160	8.12.13	吉田町	占田町1705-12	和田治伸	個人住宅新築	H8-3163	宅地	現GL-0.7m削除、造成盛土内
161	8.12.13	西二 二丁	寺町寺町1-1	共用住宅新築	H8-3237	宅地	上事先行	
162	8.12.16	左京区北一 一丁	南紀寺町3丁目284-1	山水和樹	共用住宅新築	H8-3177	宅地	現GL-0.3m削除、遺物包込内
163	8.12.16	左京区北四西坊八 八	法蓮町396-5	土月嘉美	青柳喜重新築	H8-3262	壁塗	現GL-0.4m削除、造成盛土内
164	8.12.24	左京区北二 二丁	西九条町3丁目2-9	朝倉次郎	青柳喜重新築	H8-3266	水田	現GL-0.3m削除、水田作土内
165	8.12.24	西二 二丁	吉野町135-1	植原 伸	良岡住宅新築	H8-3259	宅地	現GL-0.5m削除、造成盛土内
166	8.12.25	右京区北一 一丁	吉古町2069-15	平八重正幸	個人住宅新築	H8-3205	宅地	現GL-0.9m削除、堆山直上

●80条(国指定史跡地内、現状変更)

番号	調査日	遺跡名	調査地	申請者	変更内容	申請番号	現況	備考(改変の最大規模、所見など)
6	8.10.26	史跡大安寺旧境内	大安寺西回廊1127-1他	树谷 鮎	良岡住宅新築	T-1089	宅地	NODA-7改溝渠、T-1089-2壁塗-裏-GL-5持出

工事立会・監査

● 1～3月期実施分

57条2・3(周知の埋蔵文化財包蔵地、届出・通知)

番号	調査日	道場名	調査地	出土名	T甲内容	発出番号	現況	備考(歴史的最大標識、所見など)
167	9.01.06	興福寺境内	西御門町3-1他	興福寺西門 東門付近	II-3267	宅地	地G-3-次鉄錆表鉄、上草立合	
168	9.01.06	新藏院寺跡内	高徳町560-13他	福井常光	II-3186	宅地	鐵G L-0.5m厚持	
169	9.01.06	元氣寺境内	元氣寺町34	上松賀美	II-3256	宅地	鐵G L-0.3m厚持、造或盛土内	
64	春	正勝寺境内	山陽山町境内	正勝寺西門	II-3052	道路	鐵G L-1.5m厚持、地G L-0.8m、壁G L-0.5m	
				(春: 9.01.16, 23, 24, 27~31, 02.03~07, 10~13)				
170	9.01.30	左京一条七番三坪	西包町3-1他	岡山貴都	II-3249	宅地	鐵削、造或盛土内	
171	9.01.31	左京一条二坊一坪	一条町3-1丁目30-40	岡山貴都	II-3214	宅地	鐵G L-1.5m厚持、地山上面持G L-1.7m	
172	9.01.31	左京坂越田跡跡	北之庄町(五條町)	山口民兵	II-3089	池沼	鐵削上-3.6m厚持、地山上面持G L-1.5m	
173	9.01.31	左京九条一坊十坪	西九条町4丁目13-1	豊川洋一郎	II-3213	工場	鐵G L-1.2m厚持、造或盛土内	
174	9.01.31	左京六条三坊二坪	人安寺町1丁目7-2他	大西敏博	II-3275	水田	鐵G L-0.8m厚持、地山上面持G L-0.4m	
175	9.02.03	左京五条一坊二坪	柏木町025	小島止夫	II-3278	宅地	鐵G L-0.5m厚持、高或盛土内	
176	9.02.03	左京七条一坊二坪	六条町14-1	左近元秀	II-3158	店舗	鐵削	
177	9.02.04	左京二条二坊十五坪	内大臣夙利町2丁目29-10	東多 健	II-3191	宅地	鐵G L-0.8m厚持、地面上土上面	
178	9.02.05	左京一条一坊四坪	二条大路二丁目45B-4他	米澤之郷	II-3202	水田	鐵削、切削持、地G L-1.5m厚持、地山上面持G L-0.2m	
179	9.02.07	元氣寺境内	萬葉町11-2	山原伸太郎	II-3213	宅地	鐵G L-1.3m厚持、地山上面持G L-0.2m	
180	9.02.10	左京西条六坊二三坪	阿字子町15	典田弘義	II-3179	宅地	鐵G L-0.8m厚持、地G L-0.5m厚持、造或盛土内	
181	9.02.10	左京三条五坊二六坪	下二条町30-1	櫻木 勇	II-3207	宅地	鐵G L-2.0m中板、地色駄砂留	
182	9.02.12	左京四条六坊二四坪	三条通町483-3他	事務所	II-3219	宅地	鐵削、鐵削持、1.6m厚持、鐵G L-0.5m厚持、地山上面持G L-1.5m	
183	9.02.13	左京一条一坊七坪	柏木町内地	良真市長	II-3212	公共下水道	鐵削 G L-0.6m厚持、地山上面持G L-1.8m	
184	9.02.14	第二歩代路	二条大路町二丁目1-1	鶴見崎村	II-3211	宅地	鐵削、鐵削持、G L-0.5m厚持、地G L-1.5m厚持、地山上面持G L-0.2m	
185	9.02.17	左京八条三坊七坪	香町50-1	藤谷裕子	II-3210	水田	鐵削 G L-0.5m厚持、水田下面持	
186	9.02.17	左京五条五坊一四坪	西水町町97-1	ミリヤ記念館	II-3250	宅地	鐵G L-1.1m厚持、地山上面持G L-1.2m	
187	9.02.17	左京一条一坊六坪	沿寺町地内	今井良氏	II-3270	河川	河川河床-0.5m厚持、地G L-0.5m厚持、造或盛土内	
188	9.02.20	左京二条二坊一・二坪	寺町寺町31-1	式義慶	II-3283	滑地	鐵G L-0.6m厚持、地G L-0.5m厚持、地山上面持G L-1.5m	
189	9.02.23	左京九条一坊五・十二坪	西九条町5丁目3-1	鶴見崎村	II-3262	工場	鐵削 G L-1.7m厚持、造或盛土内	
190	9.02.24	左京西条六坊二七坪	光明寺町15-1他	森本健児	II-3212	宅地	鐵削 G L-0.4m厚持、造或盛土内	
191	9.02.24	カツア「古風」(外堀)	近幸町163-3	岐阜市新規	II-3265	宅地	鐵削 G L-0.4m厚持、造或盛土内	
192	9.02.27	左京三条六坊六坪	北京市町80-13	片川雅彦	II-3253	宅地	鐵削 G L-0.5m厚持、造或盛土内	
193	9.03.03	余典坂跡遺物散布地	川上町368	岐阜県新規	II-3258	滑地	鐵削 G L-0.4m厚持、造或盛土内	
194	9.03.08	左京三条北四坊二坪	西寺大寺乞区643-6他	野後勝久	II-3248	宅地	鐵G L-1.6m厚持、地山上面持G L-1.5m	
195	9.03.08	左京一・三坊三・四坪	高幸寺町363-2	細川和義	II-3286	宅地	鐵削 G L-0.3m厚持、造或盛土内	
196	9.03.05	左京三条三坊四坪	人吉町1丁目7-1	高木信勝	II-3254	宅地	鐵削 G L-0.3m厚持、造或盛土内	
197	9.03.07	左京一・二条五坊八坪	近藤町75-2	大庭龍司	II-3200	宅地	鐵削 G L-1.2m厚持、地山上面持G L-0.4m	
198	9.03.07	池干堀跡	用田町301-3	川上已代	II-3202	宅地	工事先行、新規型、90年定期査定地内、地G L-0.5m厚持	
199	9.03.10	右京一条四坊十三・一・四坪	六条町655-5	奈良市新規	II-3248	滑地	鐵削 G L-0.3m厚持、地山上面持G L-0.2m	
200	9.03.15	右京二条二坊七坪	近辺町365-7他	上原一重	II-3215	宅地	鐵削 G L-0.3m厚持、造或盛土内	
201	9.03.11	左京一条四坊一・二坪	法蓮町705-1他	井田 幸	II-3249	宅地	鐵削 G L-0.3m厚持、地G L-0.2m厚持、造或盛土内	
202	9.03.13	右京二条二坊一・三坪	瓦町一丁目40	麻屋井利夫	II-3251	水田	鐵削 G L-0.3m厚持、地G L-0.2m厚持、造或盛土内	
203	9.03.17	左京四条五坊十坪	柳ヶ瀬27	山本俊雄	II-3201	宅地	鐵削 G L-0.5m厚持、地G L-0.2m厚持	
204	9.03.17	左京二条六坊八坪	向井家寺町604-1	中嶋 雅	II-3230	宅地	鐵削 G L-1.6m厚持、地G L-0.5m厚持、地山上面持G L-0.2m	
205	3.03.16	左京二条六坊三坪	高天町454-1-2	五十嵐義典、モリカケ・曾我	II-3231	宅地	鐵削 G L-0.5m厚持、高或盛土内	
206	9.03.21	右京六条二坊四坪	六条町333	鹿嶋謙信	II-3189	宅地	鐵削 G L-0.2m厚持、造或盛土内	
207	9.03.24	左京一条七坊四坪	川上町564-38	鈴木・高橋	II-3246	宅地	鐵削 G L-0.5m厚持、地G L-0.2m厚持、造或盛土内	
208	9.03.26	左京一条二・三・四坪	北川町町1-1他、北川町32-2	松田俊輔	II-3207	宅地	鐵削 G L-1.0m厚持、河邊堆積層内	
209	9.03.25	左京三条四坊八・七坪	三段畠町227-1	瀬サシ	II-3232	宅地	鐵削 G L-0.8m厚持、木工竹子内	
210	9.03.26	左京一条一坊一坪	二条大路南二丁目201-1	鶴見崎村	II-3116	綠地	鐵削 G L-0.3m厚持、高或盛土内	
211	9.03.27	左京五条二坊二坪	石の堀二丁目1-5	田島 孝	II-3206	宅地	鐵削 G L-0.4m厚持、造或盛土内	
212	9.03.27	左京六条一坊七・十坪	柏木町159-4	川上町廻西路	II-3230	宅地	鐵削 G L-0.5m厚持、造或盛土内	
213	9.03.27	南紀寺跡	南紀寺二丁目223-3	日向ソシテ-7	II-3239	宅地	鐵削 G L-0.5m厚持、里史は動物を作れない	
214	9.03.27	南紀寺跡	南紀寺二丁目223-3	田山 正	II-3337	水田	鐵削 G L-1.2m厚持、地G L-0.5m	

付編 自然科学分析

付編 自然科学分析

本年度は、奈良盆地北部の地形の形成過程を把握する手がかりとなる資料を得るために、平城京第325次調査第7発掘区で奈良時代の遺構面下2.1mまで掘り下げた試掘坑で確認した腐植混じりの堆積物中に含まれていた木と、平城京第349次調査の井戸S E 08の掘形で確認した腐植混じりの堆積物について、放射性炭素年代測定を行った（調査地の土層と試料採取部分については下図参照）。なお、同時にこれらの堆積物中に含まれる花粉や珪藻遺骸についても分析を行っている。

（安井宣也）



(1) 平城京第325-7・349次調査採取試料の放射性炭素年代測定

株式会社 古環境研究所

I 平城京第325次調査第7発掘区採取試料

1. 試料と方法

試料名	地点・層準	種類	前処理・調整	測定法
No.3	試掘坑* 下段d層	植物遺体	酸-アルカリ-酸洗浄 ベンゼン合成	β -線計数法 液体シンチレーション

2. 測定結果

試料名	^{14}C 年代 (年BP)	$\delta^{13}\text{C}$ (‰)	補正 ^{14}C 年代 (年BP)	暦年代 交点/ $1\sigma/2\sigma$	測定No. (Beta-)
No. 3	$31,090 \pm 370$	-27.3	$31,050 \pm 370$	*****	98810

II 平城京第349次調査採取試料

1. 試料と方法

試料名	地点・層準	種類	前処理・調整	測定法
No.1	S K02壁面* サンプルA	有機質土	酸-アルカリ-酸洗浄 低濃度有機物処理 ベンゼン合成	β -線計数法 液体シンチレーション
No.2	S K02壁面* サンプルC	有機質土	酸-アルカリ-酸洗浄 低濃度有機物処理 ベンゼン合成	β -線計数法 液体シンチレーション

2. 測定結果

試料名	^{14}C 年代 (年BP)	$\delta^{13}\text{C}$ (‰)	補正 ^{14}C 年代 (年BP)	暦年代 交点/ $1\sigma/2\sigma$	測定No. (Beta-)
No.1	$24,610 \pm 240$	-29.8	$24,540 \pm 240$	*****	98808
No.2	$26,000 \pm 260$	-29.6	$25,930 \pm 260$	*****	98809

*: 採取時の試料名称

1) ^{14}C 年代測定値

試料の $^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$ 比から、単純に現在(1950年AD)から何年前(BP)かを計算した値。 ^{14}C の半減期は5,568年を用いた。

2) $\delta^{13}\text{C}$ 測定値

試料の測定 $^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$ 比を補正するための炭素安定同位体比($^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$)。この値は標準物質(PDB)の同位体比からの千分偏差(‰)で表す。

3) 補正 ^{14}C 年代値

$\delta^{13}\text{C}$ 測定値から試料の炭素の同位体分別を知り、 $^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$ の測定値に補正値を加えた上で算出した年代。

4) 暦年代

過去の宇宙線強度の変動による大気中 ^{14}C 濃度の変動を補正することにより、暦年代(西暦)を算出した。補正には年代既知の樹木年輪の ^{14}C の詳細な測定値を使用した。ただし、この補正是、10,000年BPより古い試料には適用できない。

5) 試料の測定は、米国Beta Analytic社で行われた。

(2) 平城京第325-7・349次調査における花粉分析

人理大学附属天理参考館 金原正明
環境考古研究所 金原正子

1 平城京第325次調査（第7発掘区）における花粉分析

1 試料

試料は第7発掘区の下層確認試掘坑「下段d層」の1点であり、都合上と下の2試料を対象とした。

2 方法

花粉粒の分離抽出は、次の物理化学処理を施して行った。1) 5%水酸化カリウム溶液処理。2) 0.5mmの篩別、沈殿法による砂粒の除去。3) 25%フッ化水素酸溶液処理。4) 水酢酸で脱水後、アセトトリス処理（無水酢酸9:1濃硫酸のエルドマン氏液を加え1分間湯煎）。5) 再び水酢酸を加えた後、水洗。6) 沈液に右炭酸フクシンで染色、グリセリンゼリーで封入。検鏡はプレパラート作成後直ちに、生物顕微鏡によって300~1,000倍で行った。結果は同定レベルによって、科、亞科、属、亞属、節及び類の階級で分類した。複数の分類群にまたがるものはハイフン（-）で結んで示した。なお、科、亞科や属の階級の分類群で一部が属や節に細分できる場合はそれらを別の分類群とした。

3 花粉群集の特徴と推定される植生

「下段d層」の上位から花粉が比較的多く検出された。樹木花粉より草本花粉の占める割合が高く、ヨモギ属、イネ科、カヤツリグサ科が優占する。樹木花粉ではコナラ属コナラ亞属を中心に出現する。他にシグ植物單条溝胞子が極めて多い。以上から、堆積地周辺

花粉分類群 和名	325-7次下層d層	
	①	②
樹木花粉		
モミ属	1	
ツガ属	1	
マツ属複雜管束亞属	1	2
スキ属	4	
コウヤマキ	1	
イチイ科-イヌガヤ科 -ヒノキ科	6	
クルミ属		1
サワグルミ		1
ハンノキ属	4	5
カバノキ属	2	
クマシデ属-アサダ	8	1
クリーシイ属	2	1
ブナ属	7	
コナラ属コナラ亞属	29	19
コナラ属カガシ亞属	5	
ニレ属-ケヤキ	4	2
エノキ属 ムクノキ	3	
サンショウウ属		1
カエデ属	1	3
ニワトコ属-ガマズミ属	5	
草木・草本花粉		
クワ科-イラクサ科	1	1
マメ科		
草木花粉		
オモダカ属	1	
イネ科	73	10
カヤツリグサ科	28	15
ホシクサ属	1	
アカザ科-ヒユ科	1	
ナデシコ科		1
キンポウゲ属	2	
アブラナ科	1	
ワレモコウ属	8	
セリ科	11	
タンボボ科	1	1
キク科	7	1
ヨモギ属	127	8
シダ植物胞子		
单条溝胞子	207	15
三條溝胞子	2	5
樹木花粉	86	42
樹木・草木花粉	1	1
草木花粉	260	36
花粉总数	347	79
未同定花粉	3	3
シダ植物胞子	209	20

第325次調査 花粉分析結果

はシダ植物、ヨモギ属、イネ科、カヤツリクサ科の生育する草地であり、オモダカ属やホシクサ属の水湿地植物も含まれることから湿地からやや乾燥地であった。樹木花粉でコナラ属コナラ亜属が優占することから、森林植生はナラ類を中心とする落葉広葉樹林が想定される。なお、「下段d層」検出の木材は環孔材で広葉樹である。

II 平城京第349次調査における花粉分析

1 試料

試料は井戸SE08掘形壁面採取の2点が対象であり、都合上ABCの3試料を対象とした。

花粉分類群 和名	349次SE08壁面		
	A	B	C
樹木花粉			
モミ属		1	
トウヒ属		1	
ツガ属	6	1	13
マツ属単維管束亞属	10	1	19
マツ属単維管束亞属	27		6
スギ		4	3
コウヤマキ			1
イチイ科—イスカヤ科	1	7	5
—ヒノキ科			
ハンノキ属	15	7	7
カバノキ属	12	11	9
ハンビミ属			1
クマシデ属—アサダ	12	11	14
クリーシイ属		1	
ブナ属	4	1	7
コナラ属コナラ亜属	15	26	18
コナラ属アカガシ亜属	10	1	1
ニレ科—ケヤキ	4	2	2
エノキ属		2	3
シナノキ属			1
ニワトコ属—ムクノキ			4
樹木・草木花粉			
クワ科—イラクサ科		1	
マメ科		7	
草木花粉			
オモダカ属		1	
イネ科	13	21	39
カヤツリグサ科	99	225	165
カラマツソク属		3	
ワレモコウ属	4	8	7
セリ科		35	1
シソ科		1	
タンボボ科			1
キク亜科	6	4	1
ヨモギ属	10	39	13
シダ植物胞子			
單条溝胞子	4	2	
三条溝胞子		3	
樹木花粉	116	75	116
樹木・草木花粉	0	7	1
草木花粉	132	337	227
花粉總数	248	419	344
未同定花粉	2	1	1
シダ植物胞子	4	0	5

第349次調査 花粉分析結果

2 方法

花粉粒の分離抽出、検鏡及び分類は、前述の第325次調査（第7発掘区）採取試料と同じ方法で行った。

3 花粉群集の特徴と推定される植生

AとCから比較的多くの花粉が産出し、花粉組成は比較的似る。樹木花粉ではマツ属単維管束亞属、ツガ属の針葉樹、ハンノキ属、カバノキ属、クマシデ属—アサダ、ブナ属、コナラ属コナラ亜属を中心に出現する。草本花粉ではカヤツリグサ科が極めて優占し、イネ科、ヨモギ属、キク亜科、ワレモコウ属などが伴われる。

マツ属単維管束亞属が出現し、コナラ属コナラ亜属やブナ属が出現することから、周辺地域の上部には、ゴヨウマツ類（マツ属単維管束亞属）を主とする亞寒帯針葉樹林が分布し、下部には冷温帶の落葉広葉樹林が分布していた。気候としては寒冷で乾燥した気候が推定され、概ね最終寒冷期頃の可能性が示唆される。なお、堆積地はカヤツリグサ科が主に生育する湿地であったと考えられ、軽微な乾湿を繰り返し、乾燥したときには、ヨモギ属などが生育していたと推定される。

版圖

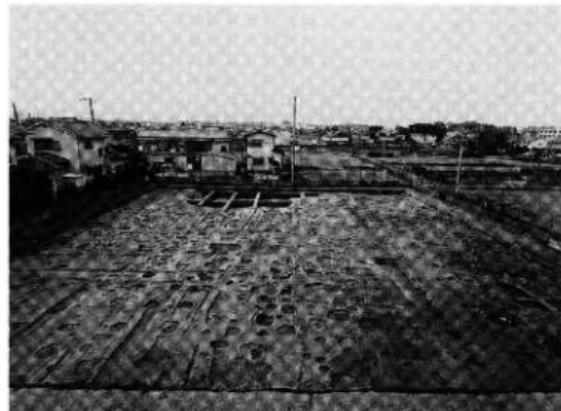


1 発掘区全景（右が北）

平城京右京二条三坊一坪

第327次
(第一発掘区)、
第351次
(第二発掘区)

(2)



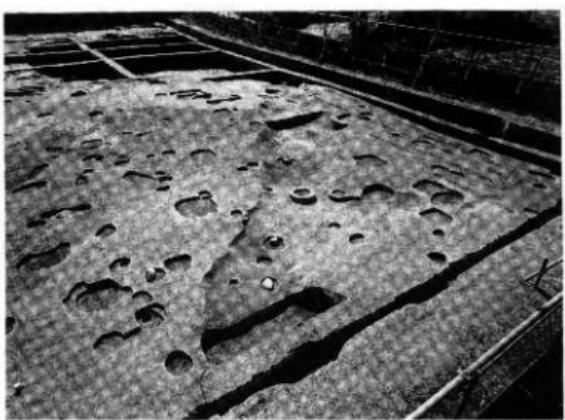
2 第327次 第1発掘区
西半部(東から)



3 第327次 第1発掘区
東半部(東から)



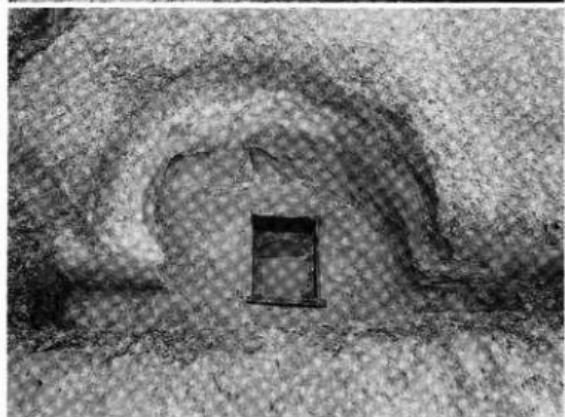
4 第351次 第2発掘区
(東から)



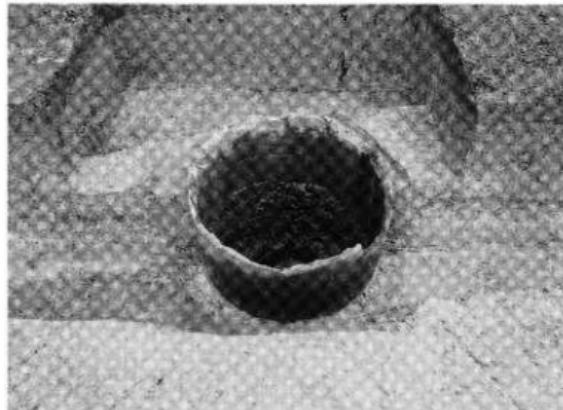
5 溝S D109、土塀SK
601(北東から)



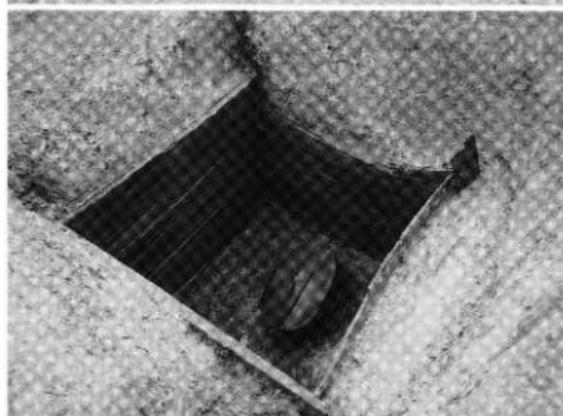
6 井戸SE520(西から)



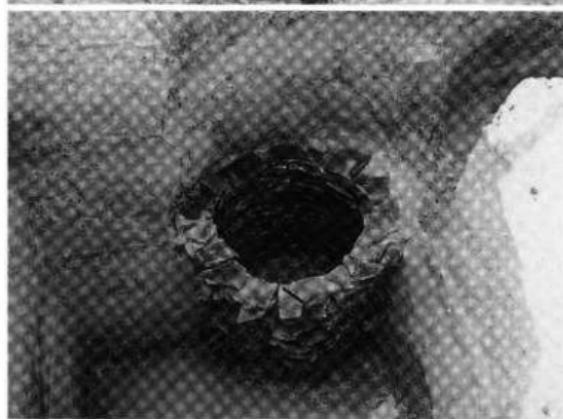
7 井戸SE524(東から)



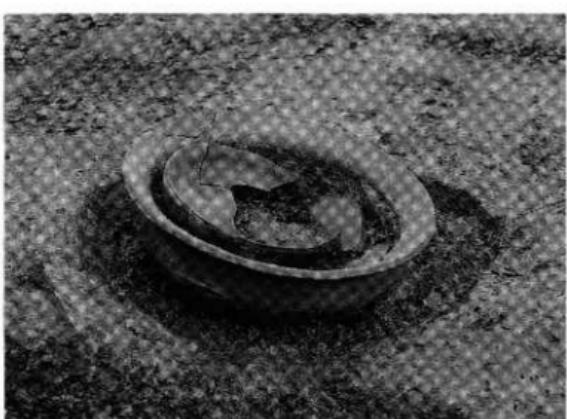
8 井戸S E523 (北から)



9 井戸S E539 (北西から)



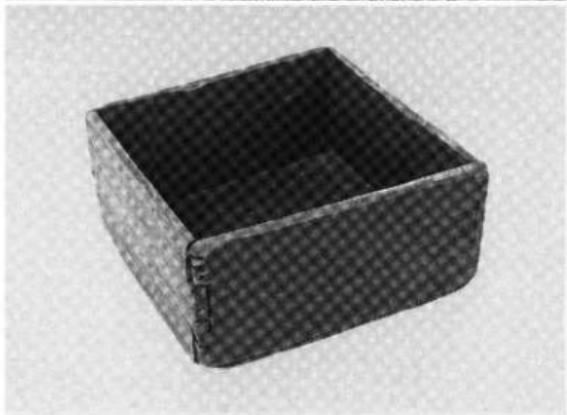
10 井戸S E545 (北から)



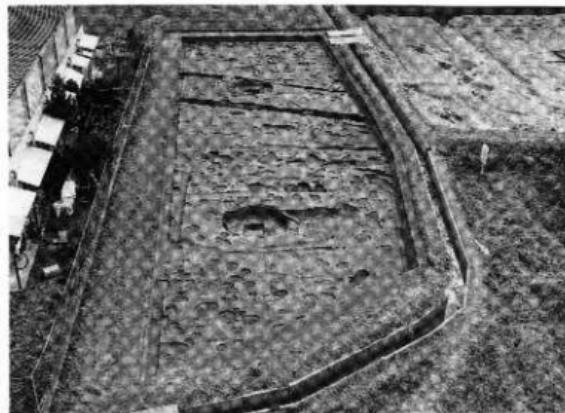
11 土器埋納土塙 S X 804
(東から)



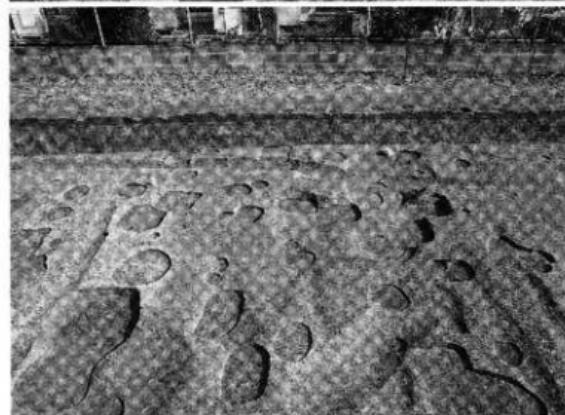
12 土器埋納土塙 S X 805
(東から)



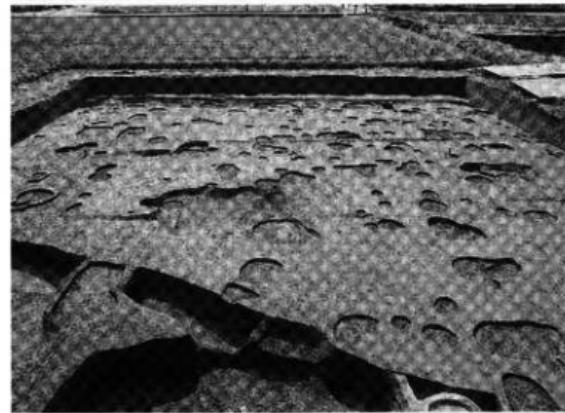
13 井戸 S E539出土 桶



1 発掘区全景（北から）



2 建物 S B 335・336
(西から)



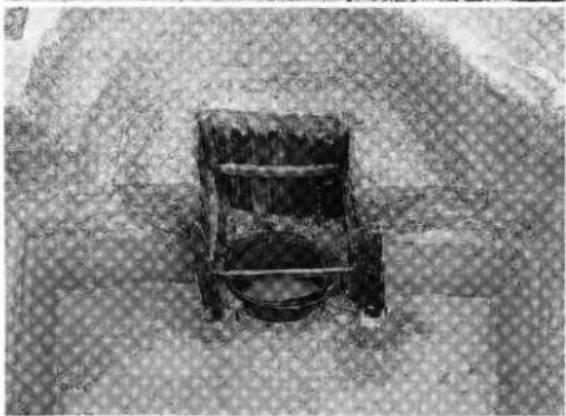
3 建物 S B 339（北から）



4 建物S B341（北から）

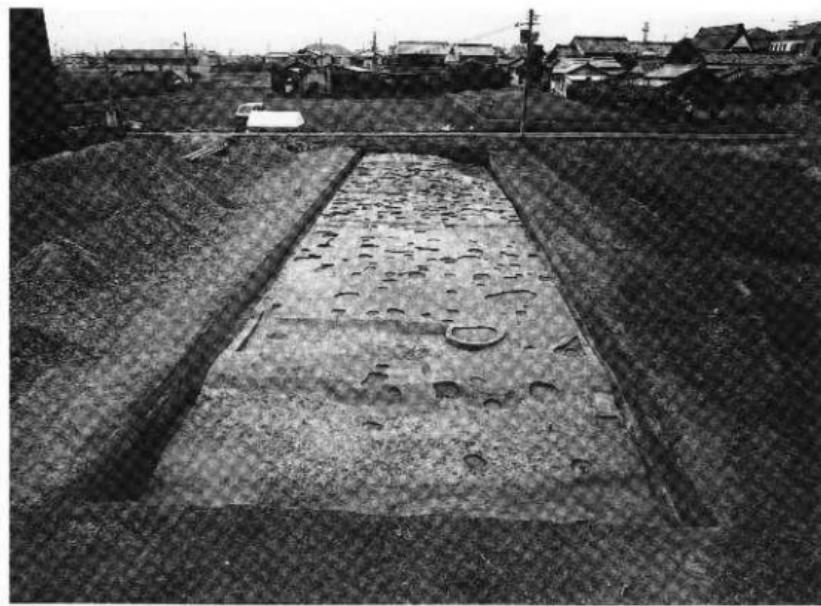


5 井戸S E531（南から）

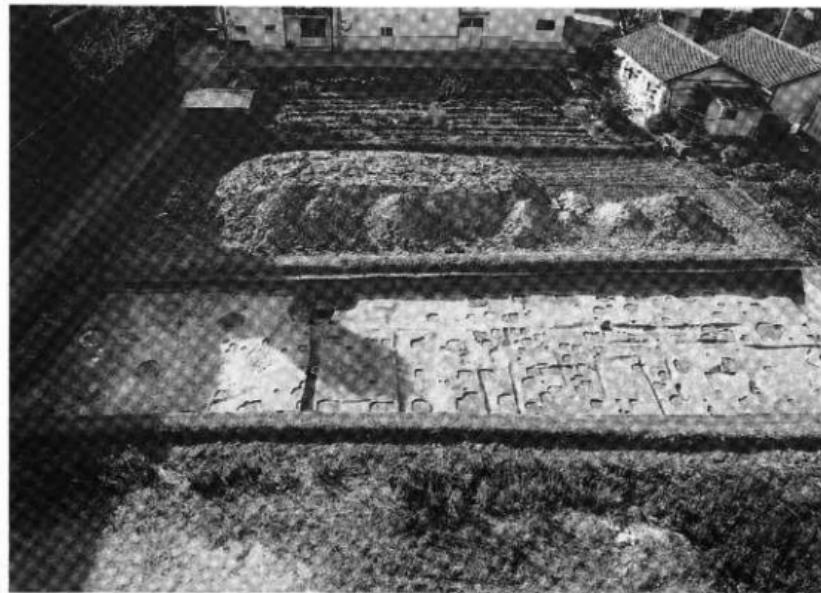


6 井戸S E532（南から）

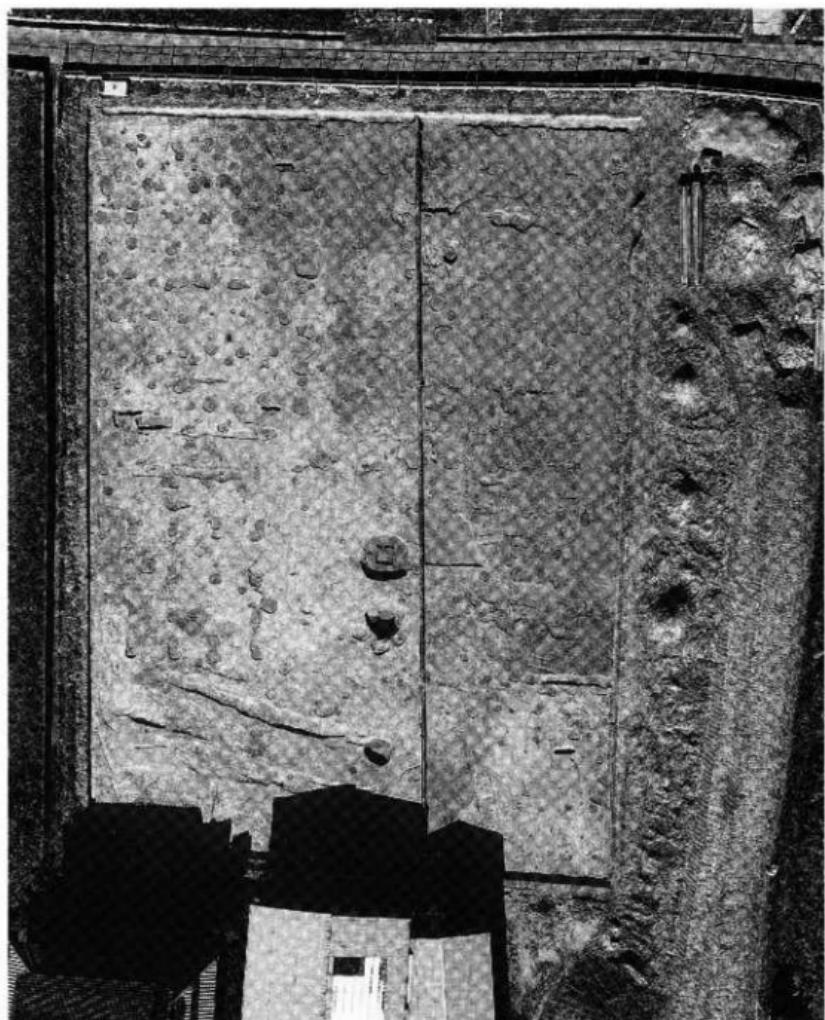
(1)



1 第2発掘区全景（北から）



2 第4発掘区全景（東から）



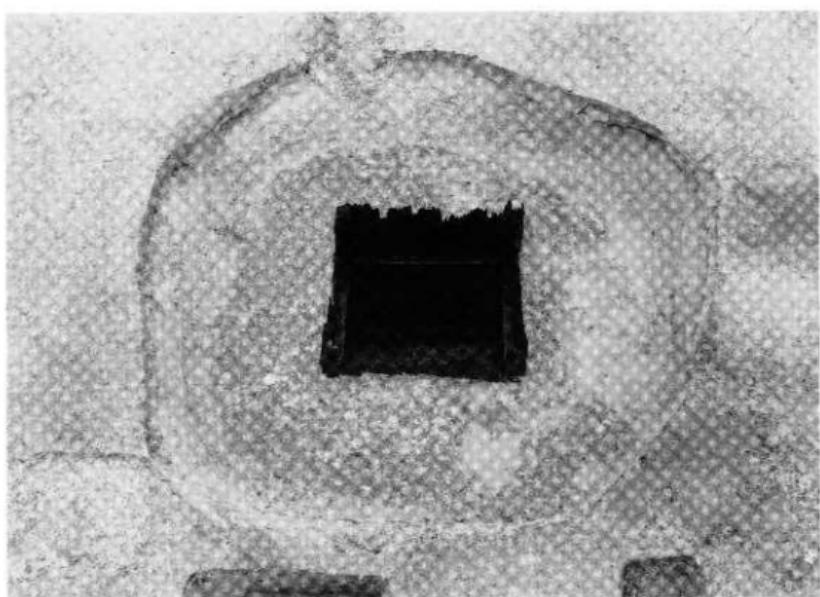
1 発掘区全景（上が北）



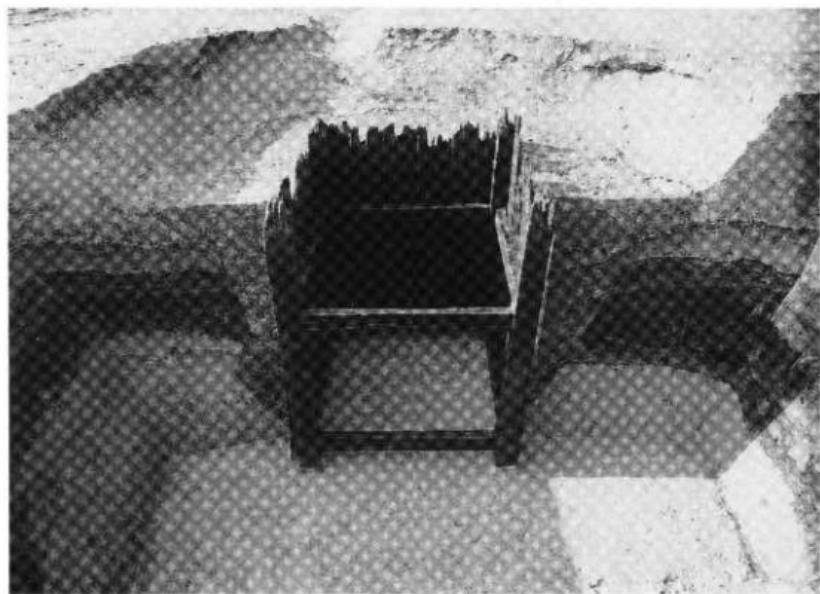
2 発掘区全景（北西から）



3 発掘区全景（南東から）



4 井戸 S E504 (東から)



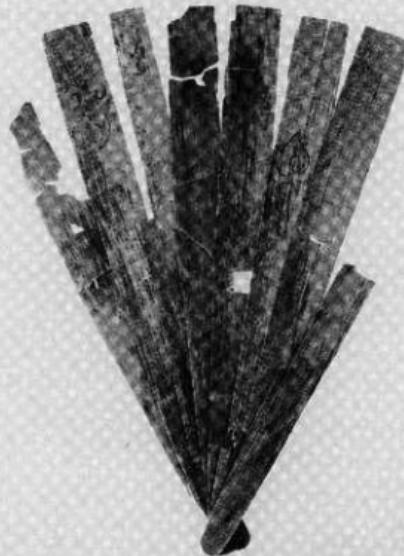
5 井戸 S E504 断面 (東から)



1 井戸 S E504出土木簡 三



2 井戸 S E504出土木簡 一



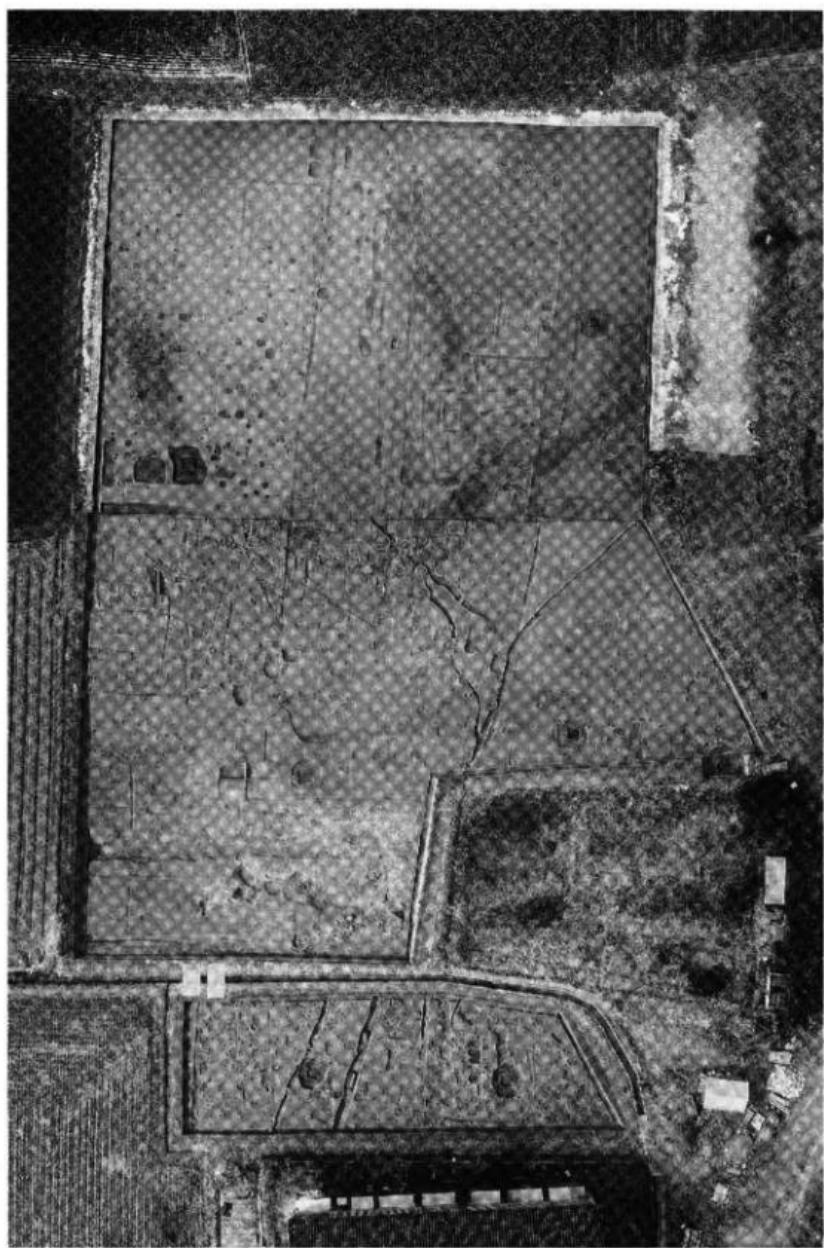
3 井戸 S E504出土木簡 1~8



4 井戸 S E504出土木簡 二

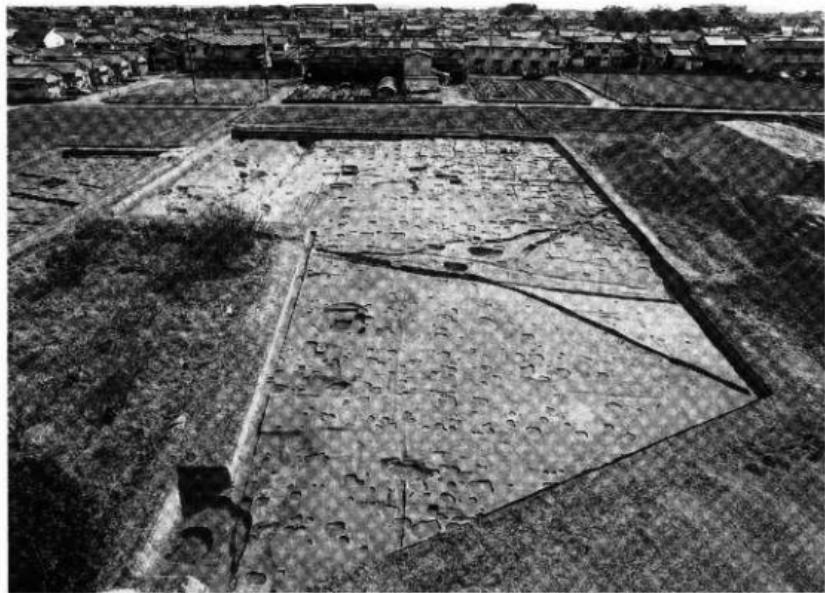
平城京右京二条三坊十一坪 第327次（第5発掘区西）、第351次（第1発掘区）

(1)



1 発掘区全景（右が北）

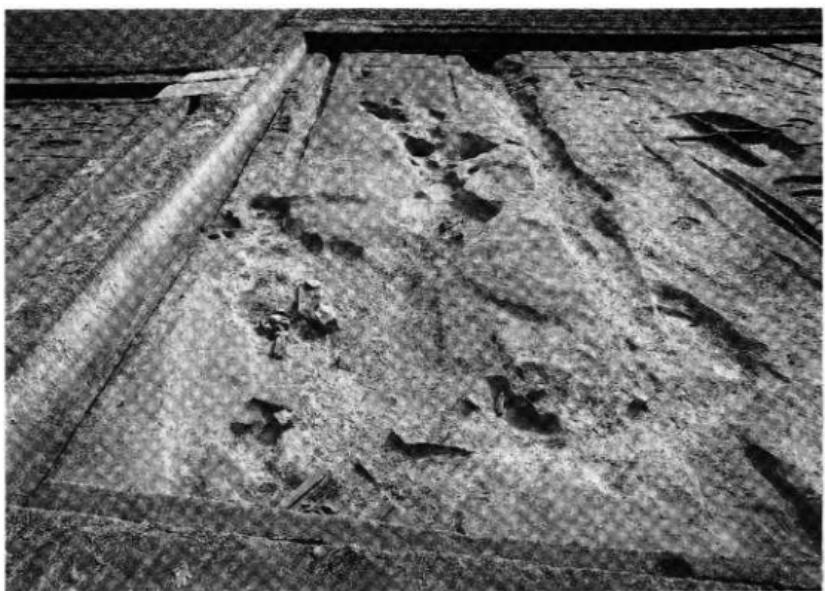
平城京右京一条三坊十一坪
第327次（第5発掘区西）、第351次（第1発掘区）
(2)



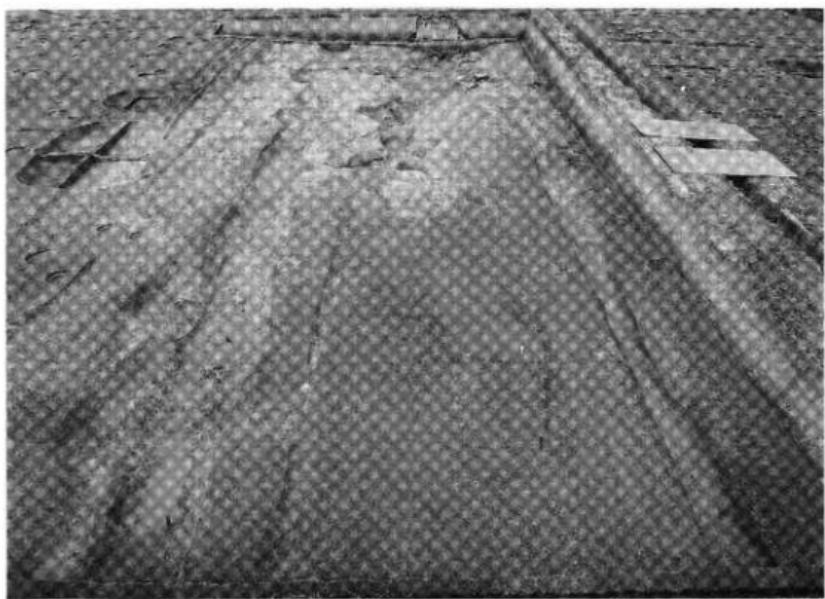
2 第327次 第5発掘区西全景（北から）



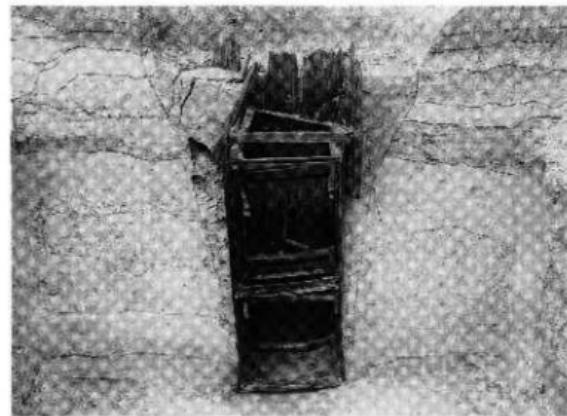
3 第351次 第1発掘区全景（北から）



4 西三坊坊間路 S F 0611、同西侧溝 S D103、同東側溝 S D104（北から）



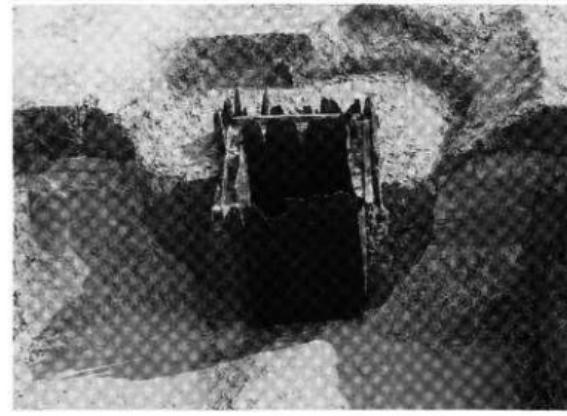
5 西三坊坊間路 S F 0611、同西侧溝 S D103、同東側溝 S D104（南から）



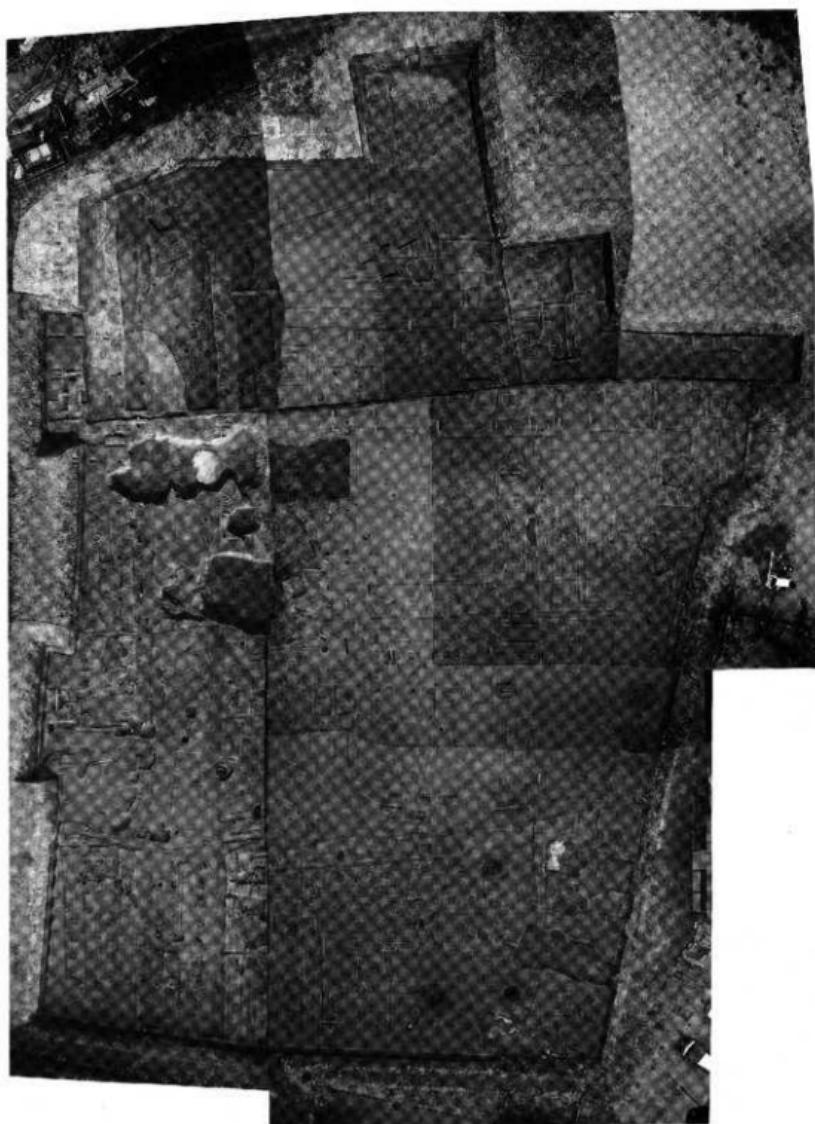
6 井戸 S E508 (西から)



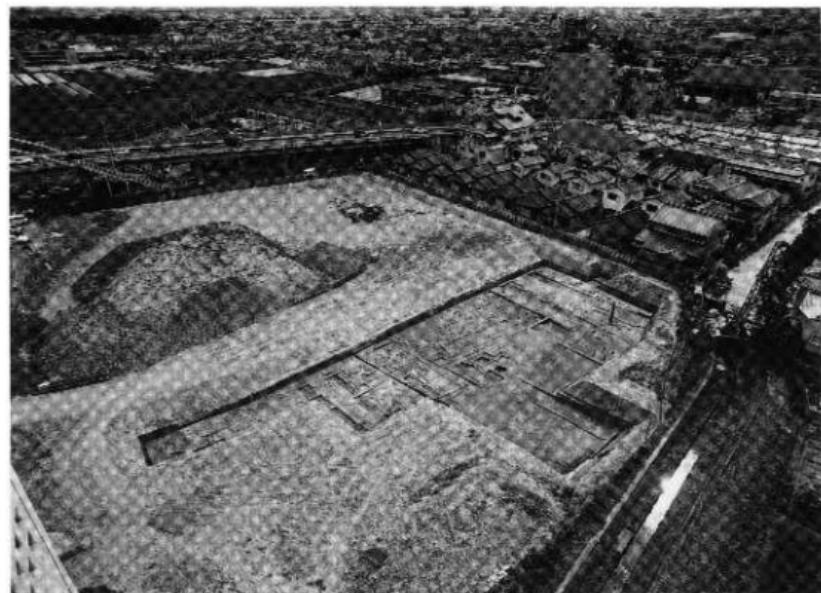
7 井戸 S E510 (南から)



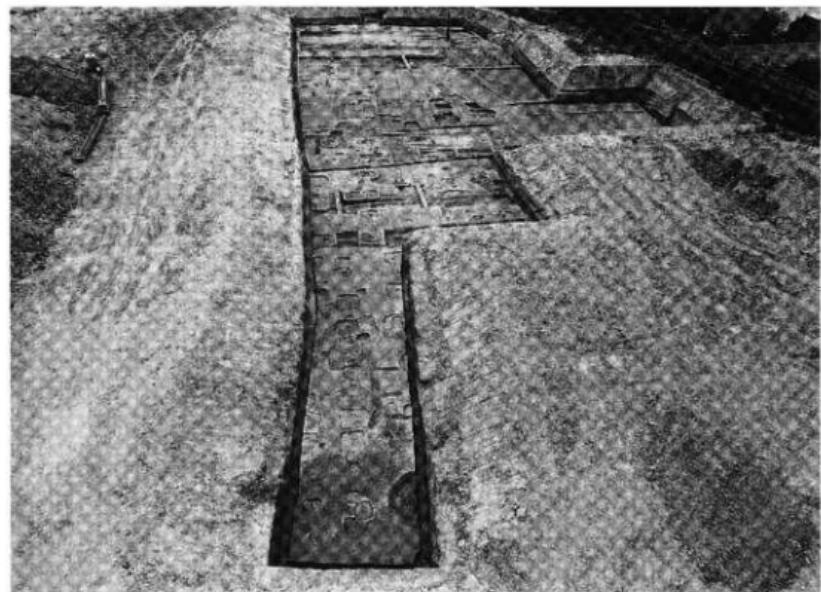
8 井戸 S E514 (北から)



1 発掘区全景（上が北）



2 発掘区全景（北東から）



3 発掘区全景（東から）